

Windows8.1 から Windows11 に パソコンを入れ替える方へ

《TREND-ONE のデータ・設定の移行手順》

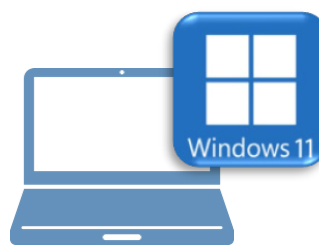
Windows8.1→Windows11 への移行の流れ

1. Windows8.1 でインストール方法を確認します



- スタンドアロン
- サーバークライアント（共同編集あり）
- サーバークライアント（共同編集なし）

2. 新しいパソコンに、データ・設定を移行します



- データ・設定のバックアップ
- プログラムのインストール
- データ・設定のリストア（復元）



Windows8.1 でインストール方法を確認します

まず、旧パソコン（Windows8.1）のTREND-ONEの「インストール方法」を確認します。
インストール方法によって、Windows11への移行の手順が変わります。

TREND-ONEのインストール方法を確認する

- 1 旧パソコン（Windows8.1）で「現場管理」を起動して、ウインドウのタイトルバーを確認します。



「現場管理（スタンドアロン）」と表示されている場合は



xxページからの手順で、Windows11への移行をおこないます。

2ページへ

「現場管理（共同編集あり）」と表示されている場合は



xxページからの手順で、Windows11への移行をおこないます。

25ページへ

「現場管理（共同編集なし）」と表示されている場合は



xxページからの手順で、Windows11への移行をおこないます。

63ページへ

新しいパソコンへの、データ・設定の移行の流れ

スタンドアロン用



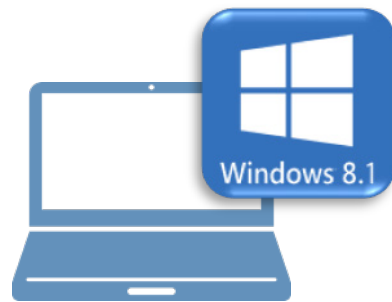
Windows8.1 での作業

- ① データ・設定のバックアップ
- ② ライセンスの解除

Windows11 での作業

- ③ FC アカウントのインストール
- ④ TREND-ONE のインストール
- ⑤ ライセンスの認証
- ⑥ データ・設定のリストア（復元）
- ⑦ セキュリティソフトの除外設定

スタンドアロン用



Windows8.1 での作業

- ① データ・設定のバックアップ
- ② ライセンスの解除



1

データ・設定のバックアップ

まず、旧パソコン（Windows8.1）のTREND-ONEで、「現場データ」と「設定」をバックアップします。

1-1 現場データをバックアップする

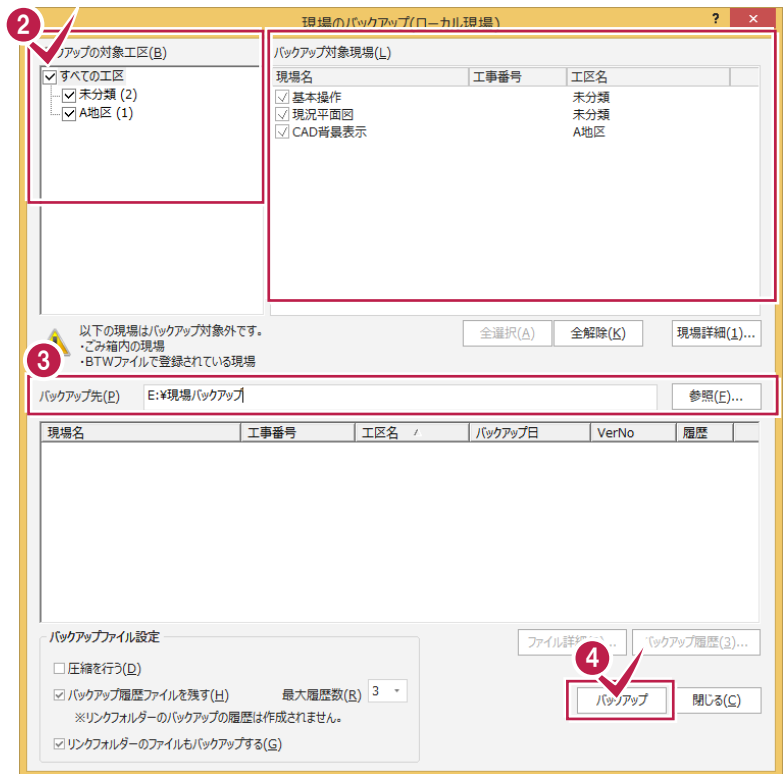
現場データをバックアップする手順です。 ※現場管理以外のプログラムは終了しておいてください。

- 1 現場管理を起動して、[書込] タブー [バックアップ] グループー [現場] をクリックします。



- 2 「すべての工区」のチェックを「オン」にします。

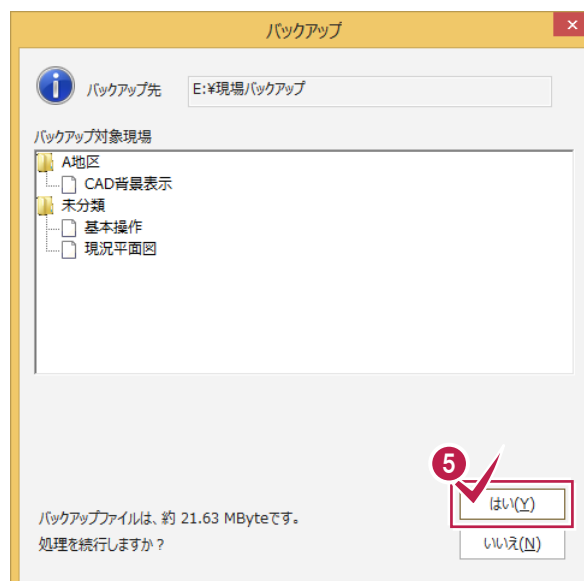
[バックアップ対象工区] のすべての工区と、
[バックアップ対象現場] のすべての現場の
チェックが「オン」になったことを確認します。



- 3 バックアップ先のフォルダーを指定します。

- 4 [バックアップ] をクリックします。

- 5 [はい] をクリックします。
バックアップが開始されます。

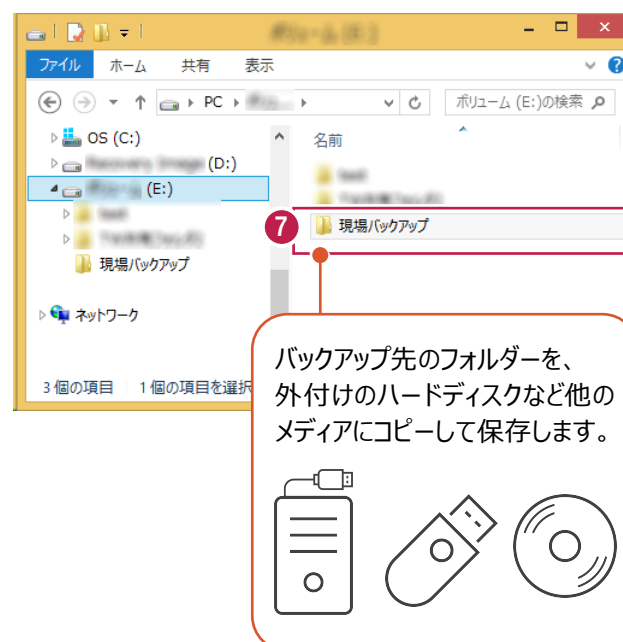


- 6 バックアップが終了したら [OK] をクリックします。



- 7 バックアップ先のフォルダーを、外付けのハードディスクなど他のメディアにコピーします。

以上で、「現場データのバックアップ」は完了です。



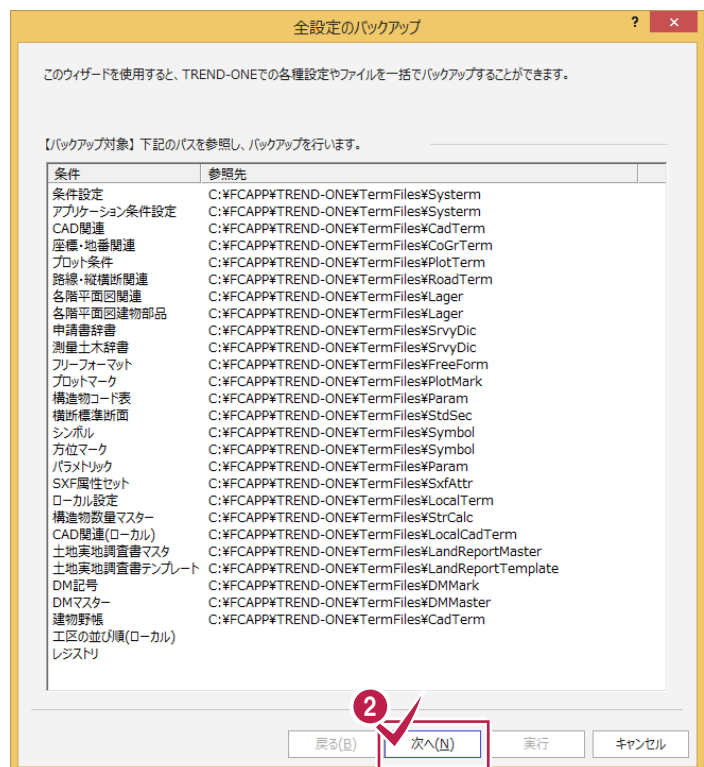
1-2 全設定をバックアップする

全設定をバックアップする手順です。 ※現場管理以外のプログラムは終了しておいてください。

- 1 現場管理の [書込] タブ - [バックアップ] グループ - [全設定] をクリックします。



- 2 バックアップされる条件を確認して [次へ] をクリックします。



③ バックアップ先のフォルダーを指定します。

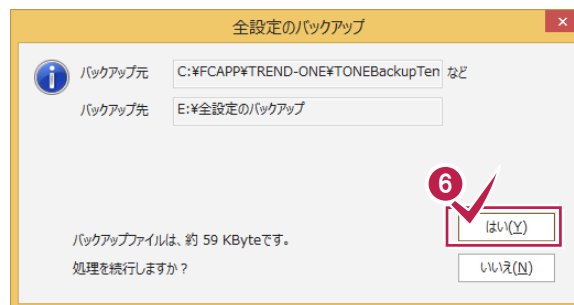
④ [次へ] をクリックします。



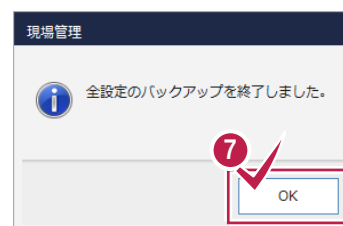
⑤ [実行] をクリックします。



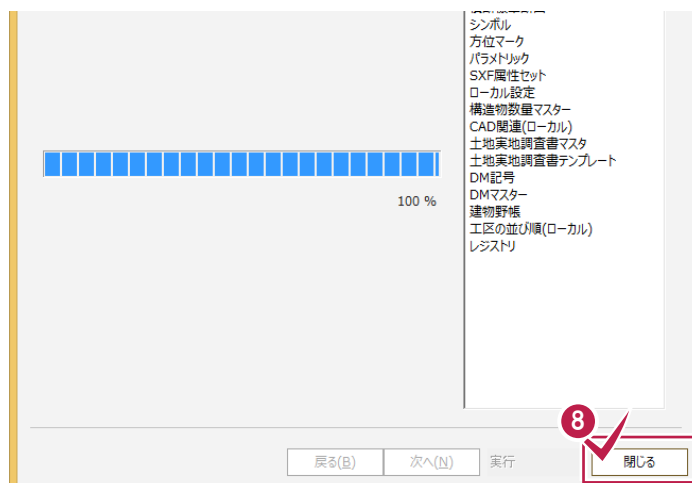
- 6 [はい] をクリックします。
バックアップが開始されます。



- 7 バックアップが終了したら [OK] をクリックします。

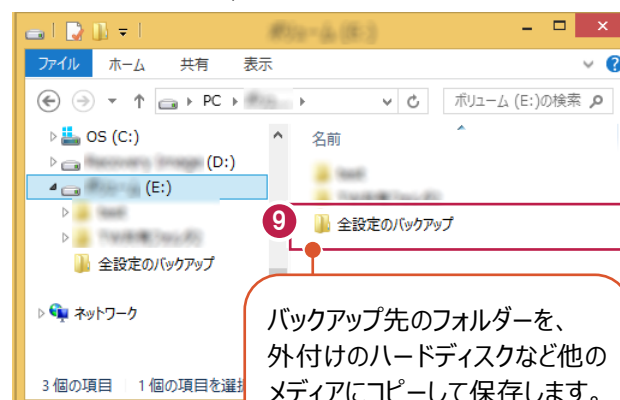


- 8 [閉じる] をクリックします。



- 9 バックアップ先のフォルダーを、外付けのハードディスクなど他のメディアにコピーします。

以上で、「全設定のバックアップ」は完了です。



バックアップ先のフォルダーを、外付けのハードディスクなど他のメディアにコピーして保存します。





2

ライセンスの解除

旧パソコン（Windows8.1）で使用している「ネット認証ライセンス（占有）」を解除します。
ライセンスを解除しないと、新パソコン（Windows11）でライセンスを認証することができません。

2-1 ネット認証ライセンス（占有）を解除する

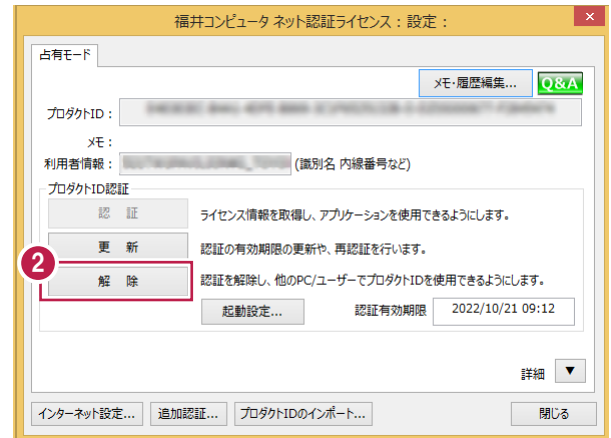
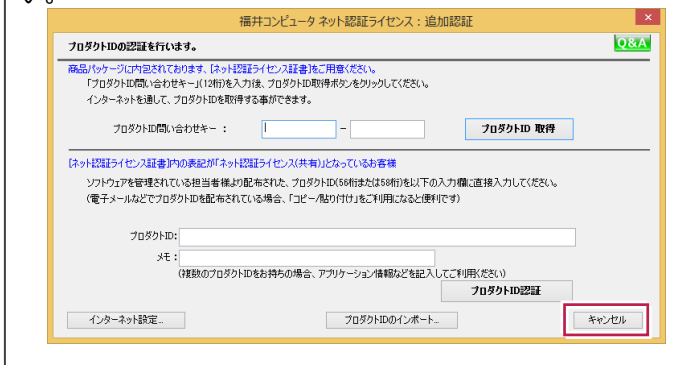
- 1 画面右下のタスクバーの通知領域にある、「FC ネット認証ライセンスセンター」のアイコンをクリックします。



- 2 ネット認証ライセンスの「設定」画面が表示されます。
[解除] を押すとネット認証が解除されます。

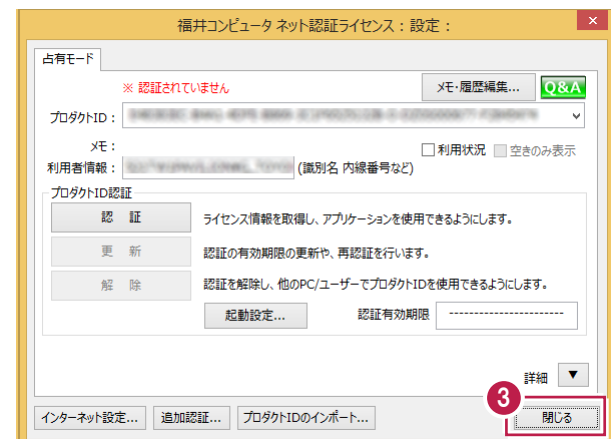
「認証設定」の画面が表示された場合は

「認証設定」の画面が表示された場合は、すでに認証は解除されています。[キャンセル] をクリックして画面を閉じてください。



- 3 [閉じる] をクリックして画面を閉じます。

以上で、「ライセンスの解除」は完了です。



スタンドアロン用



Windows11 での作業

- ③ FC アカウントのインストール
- ④ TREND-ONE のインストール
- ⑤ ライセンスの認証
- ⑥ データ・設定のリストア（復元）
- ⑦ セキュリティソフトの除外設定



3

FC アカウントのインストール

新パソコン（Window11）に、TREND-ONEの最新プログラムをダウンロードするのに必要な「FCアカウント」をインストールします。

3-1 FCアカウントをダウンロードしてインストールする

弊社WEBサイトから、「FCアカウント」をダウンロードしてインストールします。

※コンピューターが再起動されますので、実行中のアプリケーションは、全て終了させておいてください。

- 1 インターネットの検索サイトで、「FC アカウント」を検索します。



- 2 検索結果の「FC アカウントご利用案内 | 福井コンピュータグループ」をクリックします。
検索結果に表示されない場合は、以下のアドレスを直接ブラウザに入力してください。

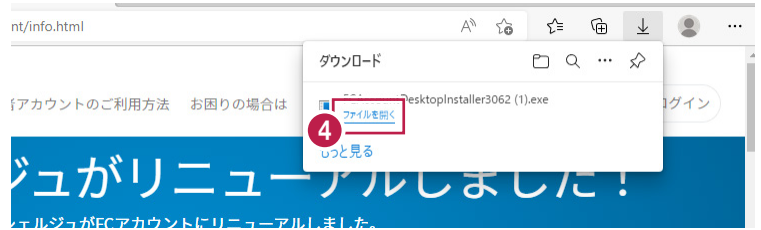
<https://hd.fukuicompu.co.jp/fc-account/info.html>



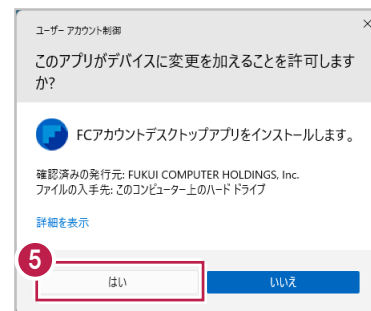
- 3 「FC アカウントをダウンロード」をクリックします。



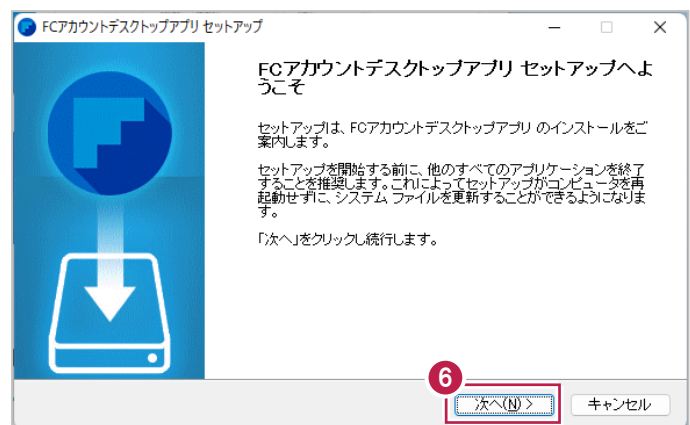
- ④ ファイルのダウンロードの画面が表示された場合は、「ファイルを開く」を押します。



- ⑤ ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は、「はい」をクリックします。

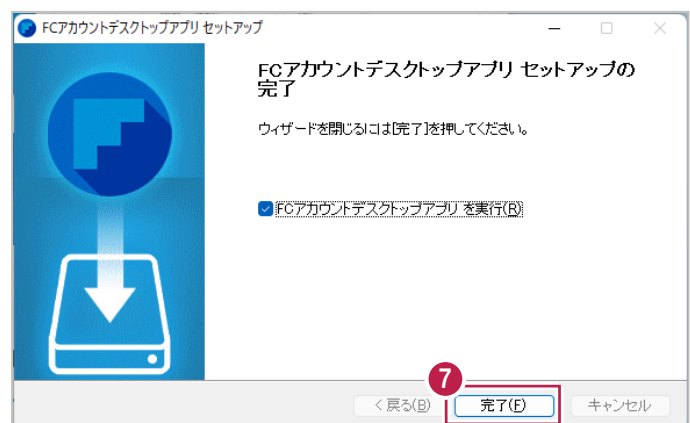


- ⑥ FC アカウントのセットアップが開始されます。画面にしたがって、セットアップをおこなってください。



- ⑦ インストールが完了したら、「完了」をクリックします。

※ [FC アカウントデスクトップアプリを実行] がオンの状態で「完了」をクリックすると、自動的に FC アカウントのデスクトップ版が起動されます。



※ FC アカウントのデスクトップ版をインストールすると、デスクトップに FC アカウントを起動するアイコンが登録されます。



※ インストールしたデスクトップアプリ版で、FC アカウントを登録して製品をインストールします。

8 FCアカウントデスクトップ版で次の画面が開きます。「次のステップへ」を押します。

※ 他のパソコンで FC アカウントを登録済みの方は、「すでに FC アカウントをお持ちの方はログインへ」よりログインして、「インストール・バージョンアップ」より製品をインストールできます。



9 FC アカウントデスクトップ版を利用するお客様のメールアドレスを入力して、「確認コードを送信」を押します。

「次へ」をクリックして、ユーザー登録をおこないます。



10 入力したメールアドレス先にメールが届きます。メールに書かれているコードを「確認コード」に入力して「コードの確認」を押します。



- 11 「新しいパスワード」「パスワードの確認入力」
（確認のため2回入力）「姓」「名」を入力し、
利用規約を確認して「利用規約に同意」にチェック
を付け「作成」を押します。

- 12 「お客様情報の確認」を押します。

- 13 右記の画面が表示されますので、保守サービス中をご契約中の場合は「こちら」をクリックします。

- 14 「ユーザーコード」と「製品シリアル」を入力して
「製品を表示する」を押します。

※以上で、「FC アカウントのインストール」は完了です。

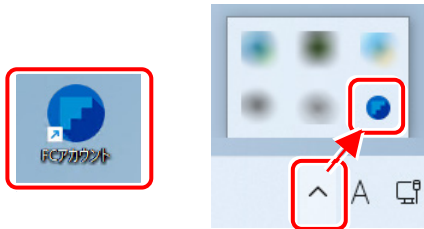


4

TREND-ONE のインストール

新パソコン (Windows11) にインストールしたFCアカウントを利用して、TREND-ONEを新規インストールする手順を解説します。

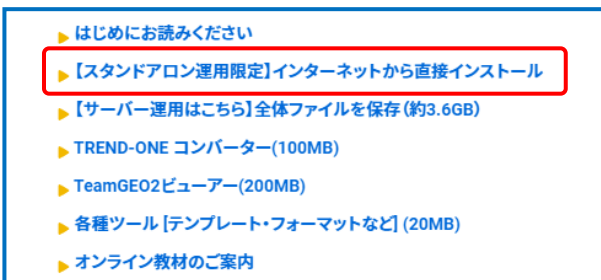
1. デスクトップのアイコン、または画面右下のタスクバーの通知領域のアイコンから、「FCアカウント」を開きます。



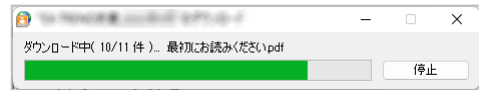
「インストール・バージョンアップ」のページにあるTREND-ONEの「インストール」ボタンをクリックします。



メニューが表示されますので、「【スタンドアロン運用限定】インターネットから直接インストール」をクリックします。



2. ダウンロードが開始されます。



3. ダウンロードが完了すると、セットアップ画面が表示されます。

表示される画面に従って、インストールを進めます。



【ソフトウェア使用許諾契約の全条項に同意します】を選択します。



(次ページへ続く)

コンピューターの時計、使用するプロテクト(プロテクトタイプ)、インストール先フォルダーを確認します。

必要があれば、変更してください。

設定を終えたら、[次へ]を押します。



時計を確認してください

コンピューターの時計が正しくないと、プロテクトが正常に動作しません。

プロテクトを確認してください

プロテクトが「ネット認証ライセンス(占有)」になっていることを確認してください。

インストール先のフォルダーを確認してください

インストール先を変更する場合は、[インストール先を変更する]ボタンから表示されるダイアログで、インストール先のフォルダーを指定します。

内容を確認して、[セットアップ開始]を押します。

プログラムのインストールが開始されます。



インストールが終わったら、[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について]を確認します。

確認を終えたら、[閉じる]を押します。

再起動が必要な場合は、再起動してください。



ウイルスセキュリティソフトの誤認識について

ウイルスセキュリティソフトの誤認識により、TREND-ONEが正常に動作しない場合があります。

誤認識を防ぐためには、セキュリティソフト側で「検出の除外」を設定する必要がある場合があります。

「検出の除外」の設定手順については、[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について]ボタンから表示される資料を参考にしてください。

以上で、「TREND-ONEのインストール」は完了です。



5 ライセンスの認証

新パソコン（Windows11）でプログラムを起動して、ネット認証ライセンス（占有）の「プロダクトIDの認証」をおこないます。

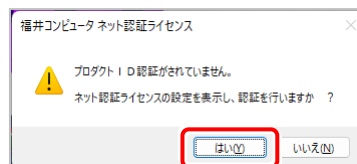
※ プロダクトIDの認証時は、インターネットに接続された環境が必要です。

5-1 ネット認証ライセンス（占有）の、プロダクトID認証手順

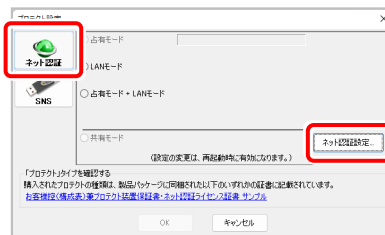
1. デスクトップの[TREND-ONE]をダブルクリックして起動します。



2. プロダクトID認証のメッセージが表示された場合は、[はい]を押して、ネット認証ライセンス（占有）の認証をおこないます。

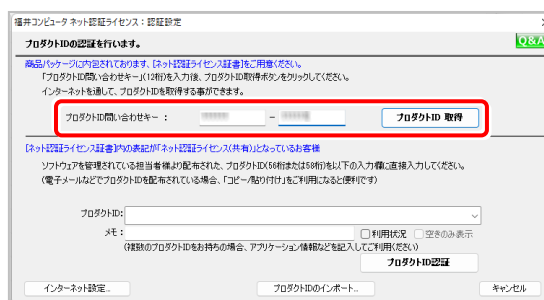


[プロテクト設定]画面が表示された場合は、[ネット認証]を選択して、[ネット認証設定]を押します。

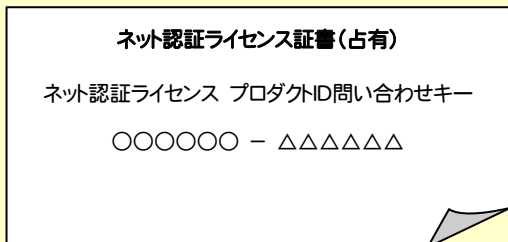


3. [プロダクトID問い合わせキー]を入力して、[プロダクトID取得]ボタンを押します。

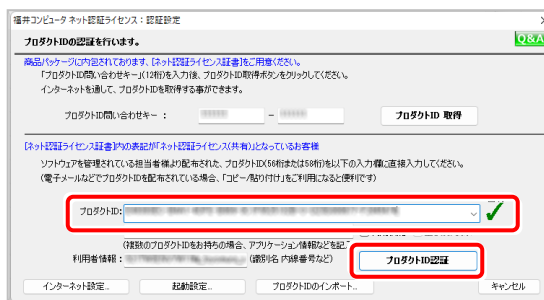
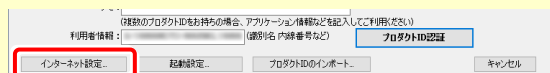
[プロダクトID]が取得されたのを確認したら、[プロダクトID認証]ボタンを押します。



[プロダクトID問い合わせキー]は 6桁+6桁 です。
送付される「ネット認証ライセンス証書(占有)」に記載されています。



※ プロダクトIDの取得や認証が正常にできない場合は、[インターネット設定]ボタンを押して、プロキシ設定を変更してみてください。



(次ページへ続く)

4. 「ライセンスの認証と解除の設定」画面が表示されます。
 お客様のご利用環境に合わせて、「自動認証時の設定」と「自動解除時の設定」を設定してください。

自動解除は、以下の様な使用方法の時に設定します
 事務所内など、常時インターネット接続が可能な環境で使用しており、

- 複数人でライセンスを使用する場合。
- 他のコンピューターでもライセンスを使用する場合。
- 商品構成の異なるプロダクトIDを、都度切り替えて使用する場合。

※ 自動解除の設定はお客様のご判断でご使用ください。

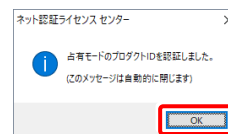
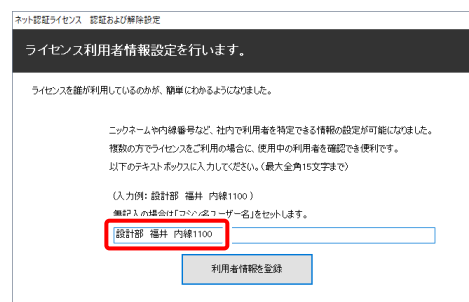


設定を終えたら、[OK] ボタンを押します。



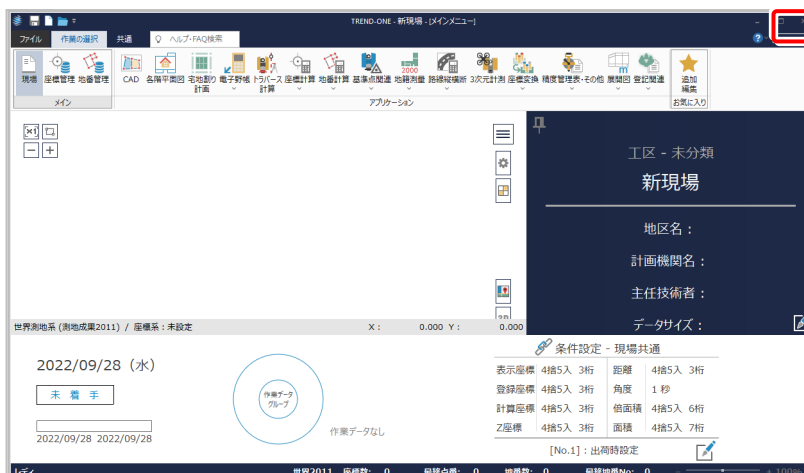
利用者情報を入力して登録してください。

【利用者情報】は、プロダクトIDの利用状況(誰が使用しているか、どのコンピューターで使用されているか等)を確認する際に利用されます。
 内線番号やニックネーム、コンピューターの識別名などを入力してください。



5. プログラムが起動します。
 ここでは一旦プログラム右上の「×」ボタンをクリックして、プログラムを終了します。

以上で「ライセンスの認証」は完了です。





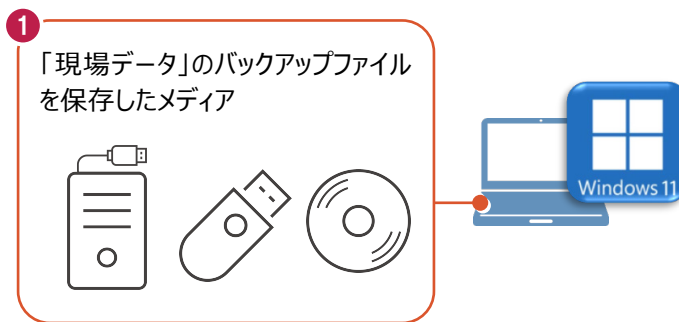
6 データ・設定のリストア（復元）

旧パソコン（Windows8.1）でバックアップしたTREND-ONEの「現場データ」と「全設定」を、新パソコン（Windows11）のTREND-ONEにリストア（復元）します。

6-1 バックアップした現場データをリストア（復元）する

バックアップした現場データをリストア（復元）する手順です。 ※現場管理以外のプログラムは終了しておいてください。

- 1 「現場データ」のバックアップファイルを保存したメディア（外付けハードディスクなど）を、パソコンにセットします。



- 2 現場管理を起動して、[読込] タブ [リストア] グループ [現場] をクリックします。

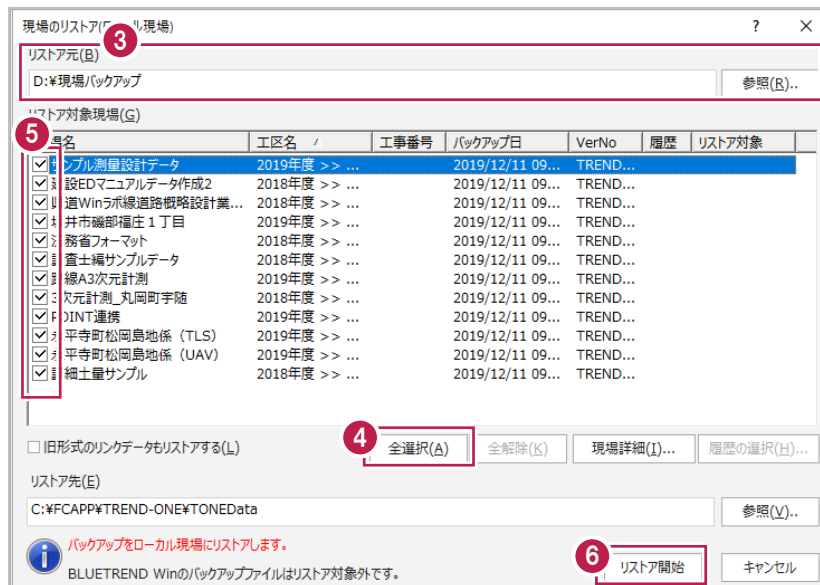


- 3 現場データのバックアップファイルが保存されているフォルダーを指定します。

- 4 [全選択] をクリックします。

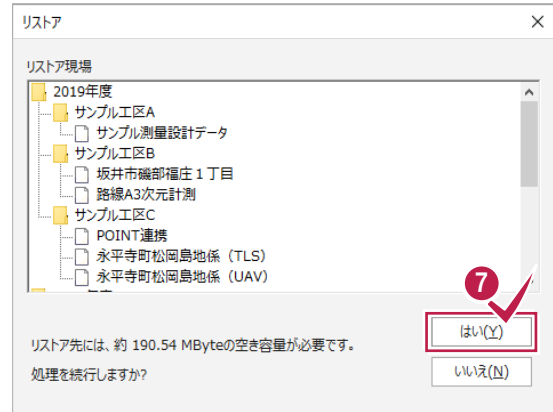
- 5 リストア対象現場のチェックが、すべて「オン」になっていることを確認します。

- 6 [リストア開始] をクリックします。



7 [はい] をクリックします。

リストア（復元）が開始されます。



8 リストア（復元）が終了したら、[OK] をクリックします。

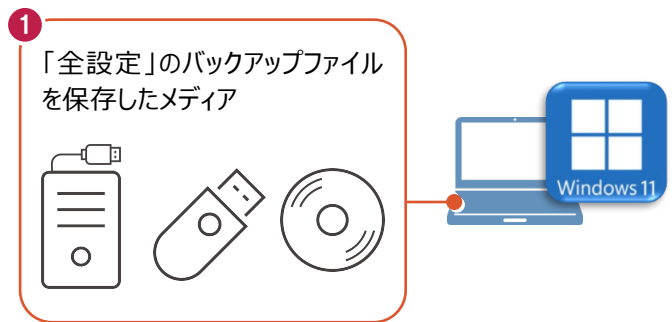
以上で「現場データのリストア（復元）」は完了です。



6-2 バックアップした全設定をリストア（復元）する

バックアップした全設定をリストア（復元）する手順です。 ※現場管理以外のプログラムは終了しておいてください。

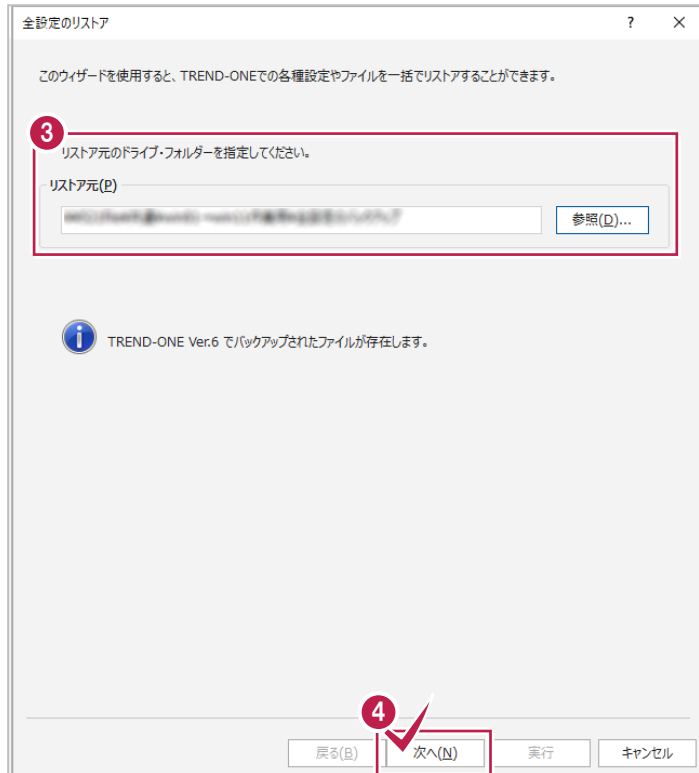
1 「全設定」のバックアップファイルを保存したメディア（外付けハードディスクなど）を、新パソコンにセットします。



2 現場管理を起動して、[読込] タブー [リストア] グループー [全設定] をクリックします。



- 3 全設定のバックアップファイルが保存されているフォルダーを指定します。



- 4 [次へ] をクリックします。

- 5 [全選択] をクリックします。

- 6 条件のチェックが、すべて「オン」になっていることを確認します。

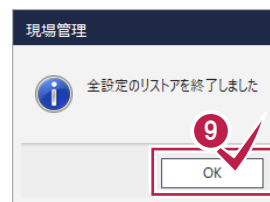


- 7 [次へ] をクリックします。

- 8 [実行] をクリックします。
リストア（復元）が開始されます。

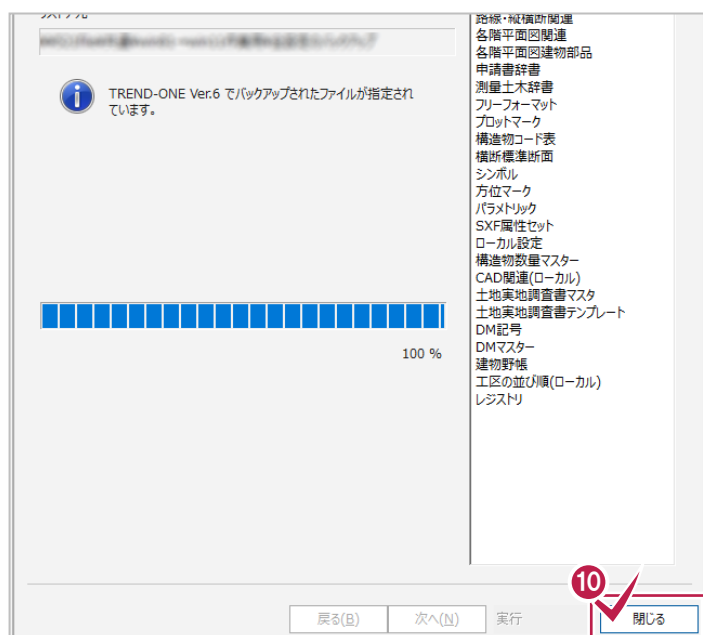


- 9 リストア（復元）が終了したら、[OK] をクリックします。



- 10 [閉じる] をクリックします。

以上で「全設定のリストア（復元）」は完了です。





7

セキュリティソフトの除外設定

セキュリティソフトに誤認識されてしまうと、起動や保存障害などの不具合が生じることがあります。このような状態を事前に回避するため、弊社プログラムがウイルスの検出対象にならないように、セキュリティソフト側であらかじめ除外設定（検出対象から除外する設定）する手順について解説します。

7-1 除外設定の手順書を開く

① お客様サポートの「インストール/認証・起動」をクリックします。



② 「その他お困りごと」をクリックします。



- ③ 「セキュリティソフトの除外設定について」の「セキュリティソフトの除外設定方法」をクリックします。
内容を確認してください。

インストール
新規インストール・バージョンアップ等

認証・起動
ネット認証ライセンス・プロダクト等

その他お困りごと
その他システムに関するお困りごと等

その他お困りごと
プログラムの起動や動作環境など、その他システムに関するお困りごとはこちらをご覧ください。

動作環境について

セキュリティソフトの除外設定について

③ セキュリティソフトの除外設定方法

- ④ セキュリティソフトの手順書が表示されます。
お使いになっているセキュリティソフトをクリックすると、除外設定の手順書が表示されます。
手順書を参考にして、セキュリティソフトの除外設定をおこなってください。

土木・測量

セキュリティソフト
ネット認証ライセンス

■ セキュリティソフト

■ ネット認証ライセンス

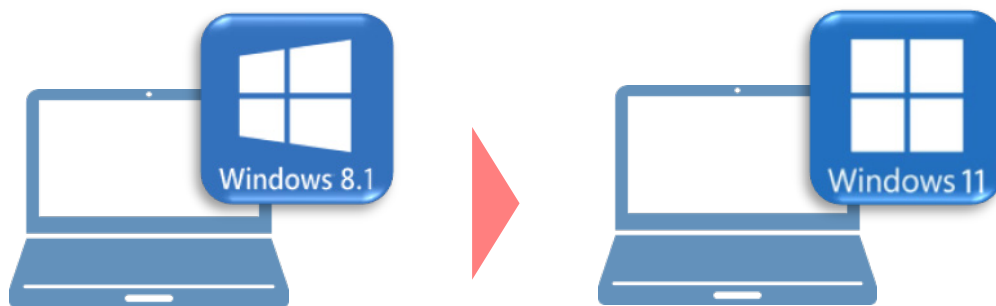
セットアップサポート

サポートセンターに日々寄せられる質問の中から、セットアップに関する内容を紹介します。

No.	セキュリティソフトメーカー	ソフト別手順書
1	トレンドマイクロ	ウイルスバスター クラウド Ver.16 ※NTTフレックスウイルスクリア・セキュリティ対策ツールもこちら ビジネスセキュリティ クライアント ビジネスセキュリティ サーバー ウイルスバスター コーポレートエディション (クライアント) ウイルスバスター コーポレートエディション (サーバー)
2	ノートン シマンテック	ノートン セキュリティ ノートン インターネットセキュリティ ノートン アンチウイルス ノートン 360 エンドポイント プロテクション エンドポイント プロテクション クラウド
3	マイクロソフト	セキュリティ エssenシャルズ Windows Defender Windows セキュリティセンター
4	ソースネクスト	ウイルスセキュリティ ゼロ スーパーセキュリティ ゼロ
5	カスペルスキー	インターネット セキュリティ ※@Niftyの常時安全セキュリティ24もこちら エンドポイント セキュリティ
6	リブセーフ	リブセーフ Ver.16

新しいパソコンへの、データ・設定の移行の流れ

サーバークライアント（共同編集あり）用



Windows8.1 での作業

- ① データ・設定のバックアップ
- ② ライセンスの解除

Windows11 での作業

- ③ FC アカウントのインストール
- ④ TREND-ONE のインストール
- ⑤ ライセンスの認証
- ⑥ データ・設定のリストア（復元）
- ⑦ セキュリティソフトの除外設定

サーバクライアント（共同編集あり）用



Windows8.1 での作業

- ① データ・設定のバックアップ
- ② ライセンスの解除



1

データ・設定のバックアップ

まず、旧パソコン（Windows8.1）のTREND-ONEで、「サーバー現場データ」と「ローカル現場データ」、「全設定」をバックアップします。

1-1 「サーバー現場データ」をバックアップする

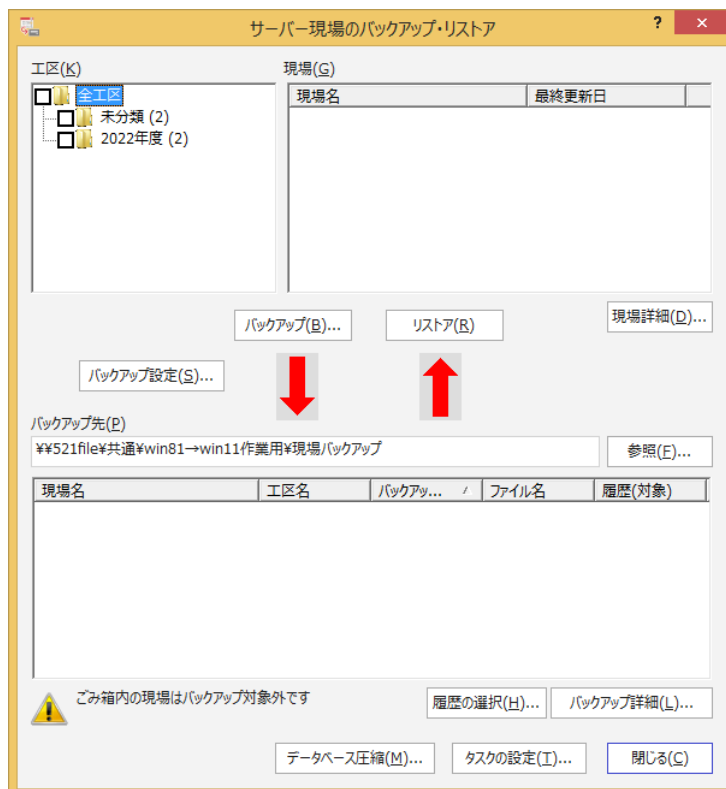
サーバー現場データをバックアップする手順です。

「サーバー現場データのバックアップ」は、サーバーでおこないます。

※他ユーザーが現場を起動していないことを確認してください。

① サーバーのデスクトップにある

「TREND-ONE バックアップツール」をダブルクリックします。



- ② 「全工区」のチェックをオンにします。

すべての工区のチェックが「オン」になったことを確認します。

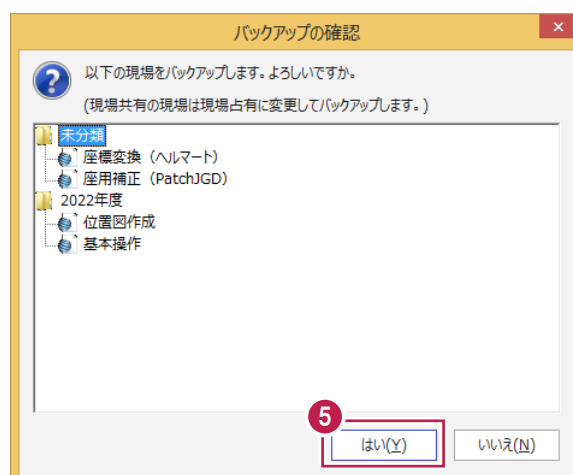
- ③ バックアップ先のフォルダーを指定します。

- ④ [バックアップ] をクリックします。

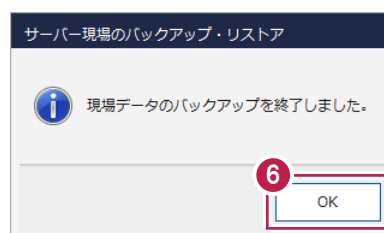


- ⑤ [はい] をクリックします。

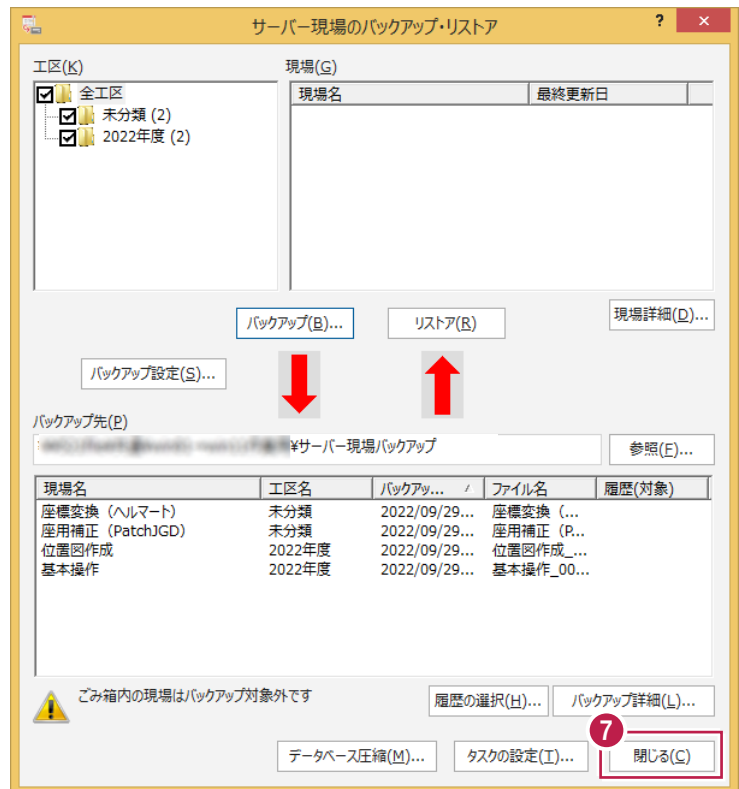
バックアップが開始されます。



- ⑥ バックアップが終了したら、[OK] をクリックします。

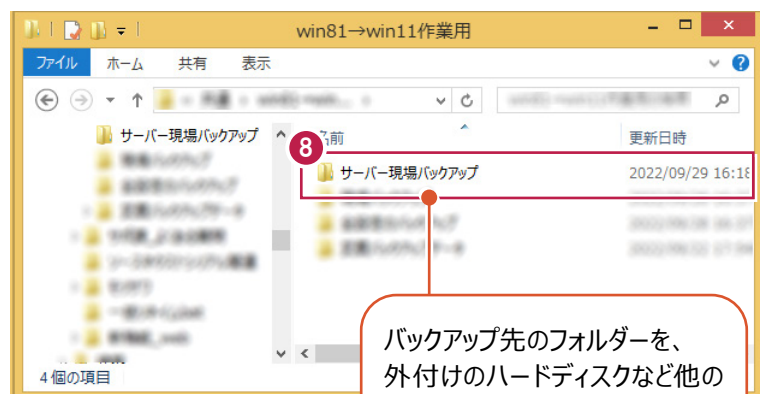


- 7 「サーバーバックアップツール」の「閉じる」をクリックして終了します。



- 8 バックアップ先のフォルダーを、外付けのハードディスクなど他のメディアにコピーします。

以上で、「サーバー現場データのバックアップ」は完了です。



1-2 ローカル現場データをバックアップする

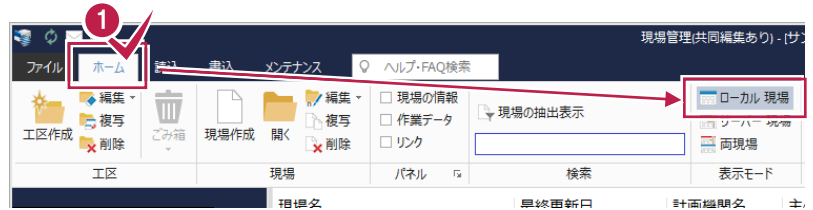
各クライアントPCに保存されているローカル現場データをバックアップする手順です。

※現場管理以外のプログラムは終了しておいてください。

「ローカル現場データのバックアップ」は、すべてのクライアント PC でおこないます。

※ただし、ローカル現場を持たないPCでは、必要ありません。

- ① 現場管理を起動して、[ホーム] タブ
[表示モード] グループ [ローカル現場]
をクリックします。

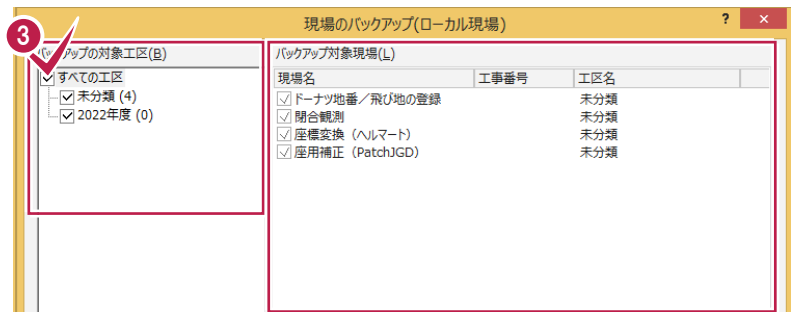


- ② [書込] タブ [バックアップ] グループ
[現場] をクリックします。



- ③ 「すべての工区」のチェックを「オン」にします。

[バックアップ対象工区] のすべての工区と、
[バックアップ対象現場] のすべての現場の
チェックが「オン」になったことを確認します。

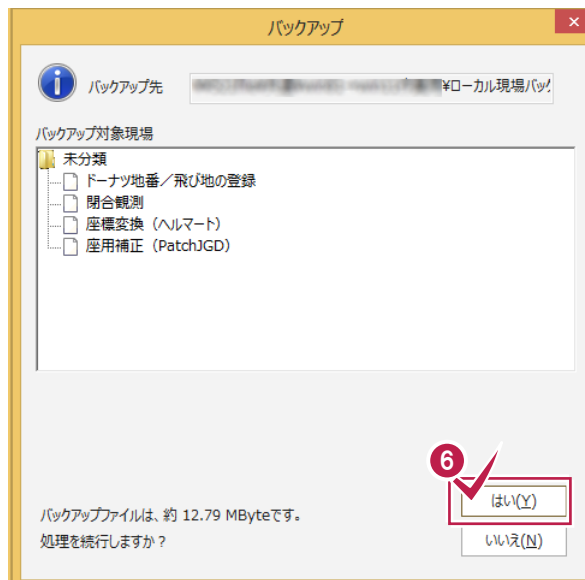


- ④ バックアップ先のフォルダーを指定します。

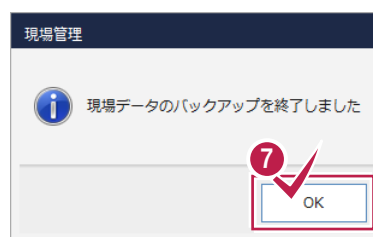


- ⑤ [バックアップ] をクリックします。

- 6 [はい] をクリックします。
バックアップが開始されます。

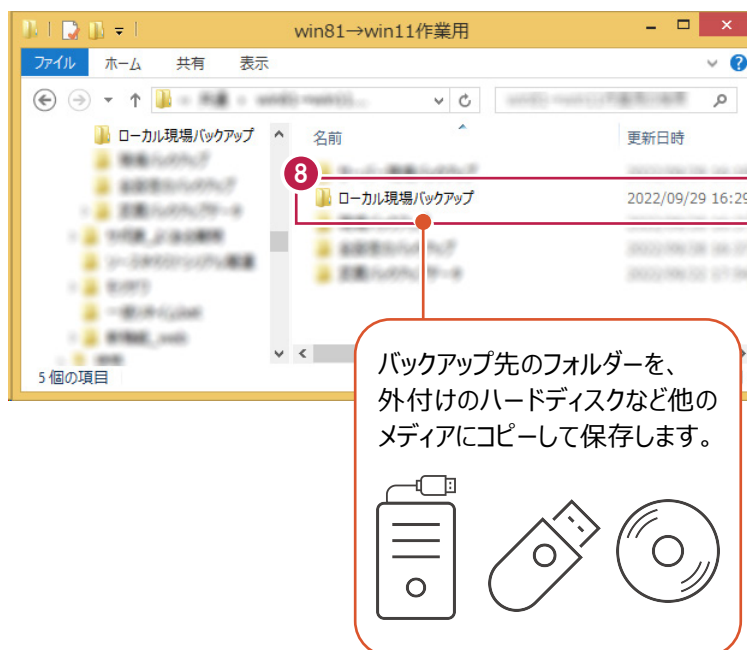


- 7 バックアップが終了したら、[OK] をクリックします。



- 8 バックアップ先のフォルダーを、外付けのハードディスクなど他のメディアにコピーします。

以上で、「ローカル現場データのバックアップ」は完了です。



1-3 全設定をバックアップする

サーバーと各クライアントPCに保存されている全設定をバックアップする手順です。

※現場管理以外のプログラムは終了しておいてください。

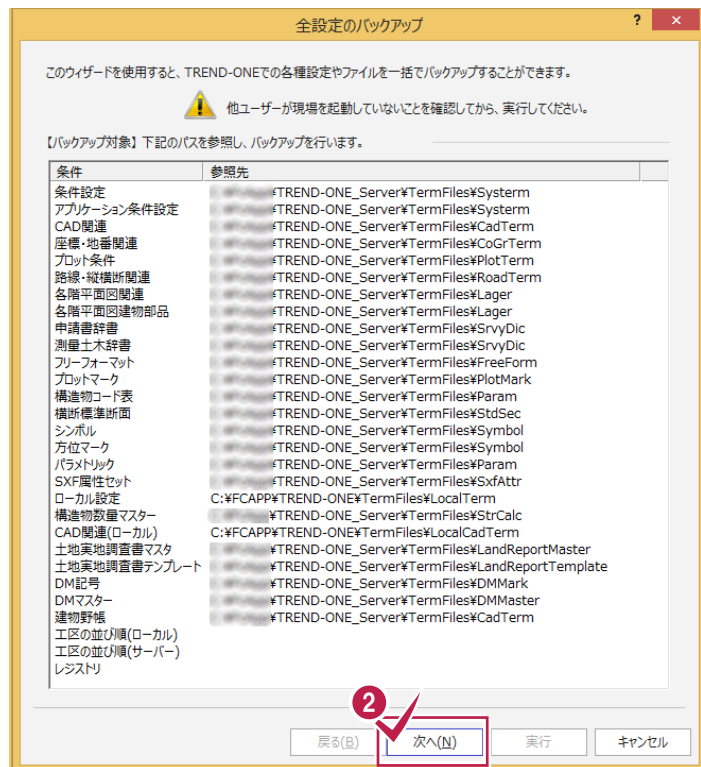
「全設定のバックアップ」は、すべてのクライアント PC でおこないます。

※他ユーザーが現場を起動していないことを確認してください。

- 1 現場管理の [書込] タブ - [バックアップ] グループ - [全設定] をクリックします。



- 2 バックアップされる条件を確認して [次へ] をクリックします。

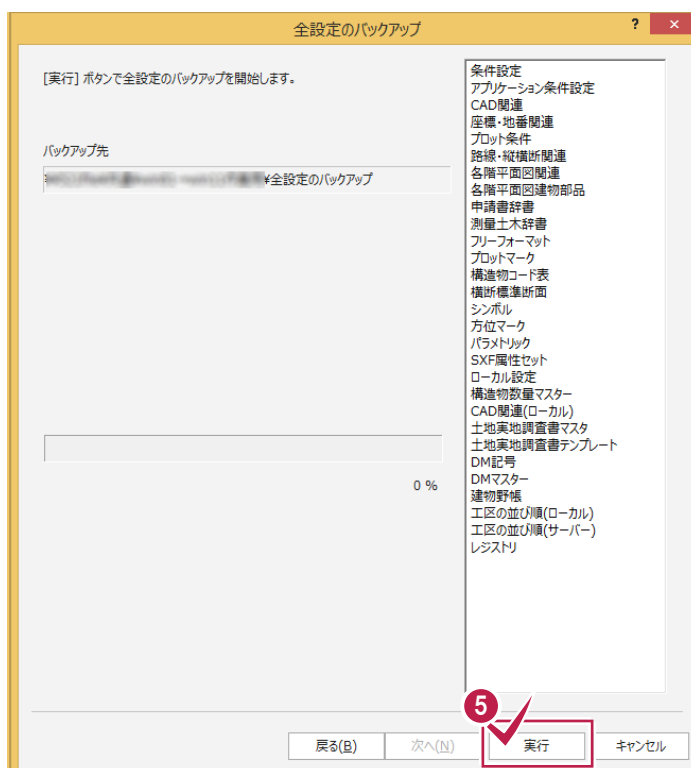


③ バックアップ先のフォルダーを指定します。

④ [次へ] をクリックします。



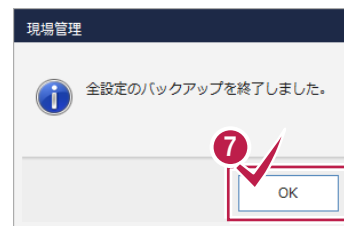
⑤ [実行] をクリックします。



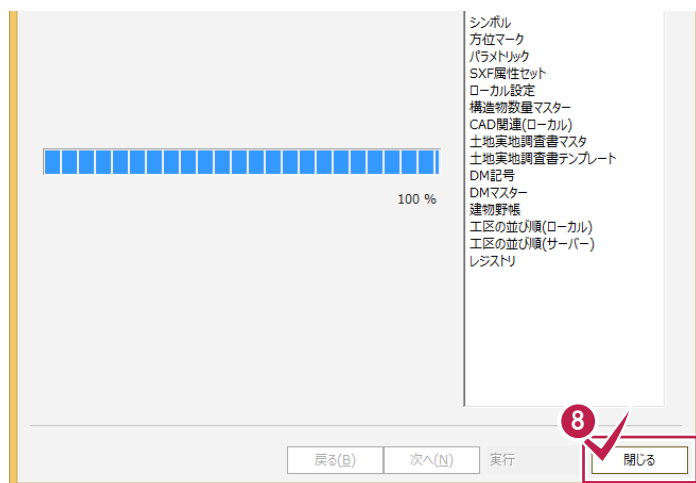
- 6 [はい] をクリックします。
バックアップが開始されます。



- 7 バックアップが終了したら [OK] をクリックします。

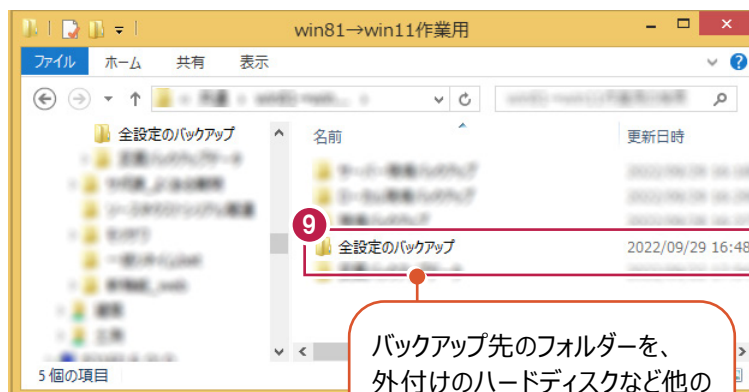


- 8 [閉じる] をクリックします。



- 9 バックアップ先のフォルダーを、外付けのハードディスクなど他のメディアにコピーします。

以上で、「全設定のバックアップ」は完了です。





2 ライセンスの解除

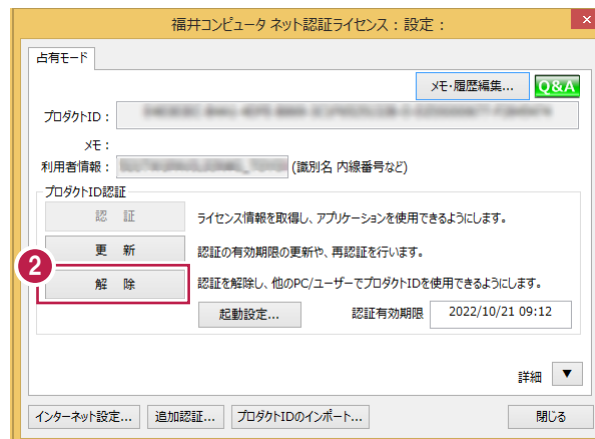
旧パソコン（Windows8.1）で使用している「ネット認証ライセンス（占有）」を解除します。
ライセンスを解除しないと、新パソコン（Windows11）でライセンスを認証することができません。

2-1 ネット認証ライセンス（占有）を解除する

- 画面右下のタスクバーの通知領域にある、「FC ネット認証ライセンスセンター」のアイコンをクリックします。

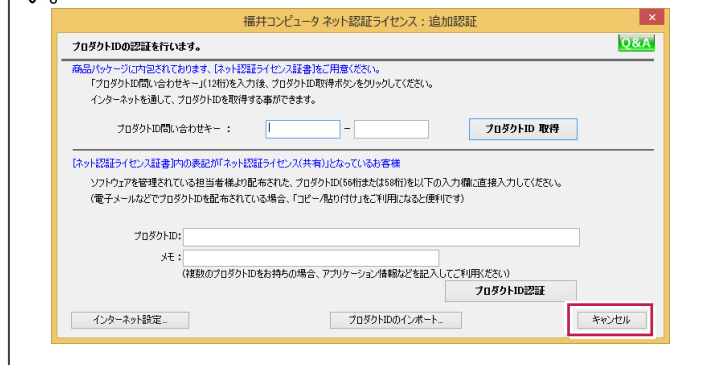


- ネット認証ライセンスの「設定」画面が表示されます。
[解除] を押すとネット認証が解除されます。



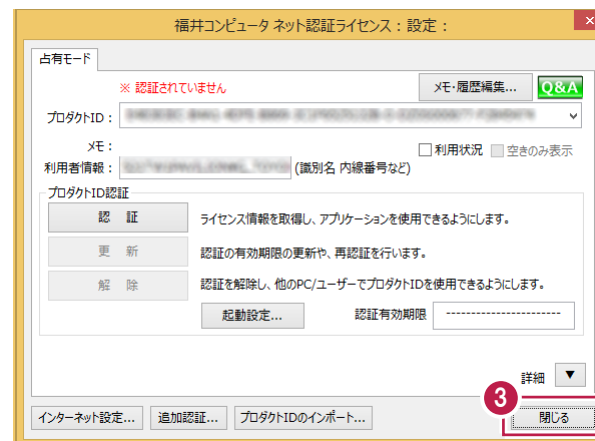
「認証設定」の画面が表示された場合は

「認証設定」の画面が表示された場合は、すでに認証は解除されています。[キャンセル] をクリックして画面を閉じてください。



- [閉じる] をクリックして画面を閉じます。

以上で、「ライセンスの解除」は完了です。



サーバクライアント（共同編集あり）用



Windows11 での作業

- ③ FC アカウントのインストール
- ④ TREND-ONE のインストール
- ⑤ ライセンスの認証
- ⑥ データ・設定のリストア（復元）
- ⑦ セキュリティソフトの除外設定



3

FC アカウントのインストール

新パソコン（Window11）に、TREND-ONEの最新プログラムをダウンロードするのに必要な「FCアカウント」をインストールします。

3-1 FCアカウントをダウンロードしてインストールする

弊社WEBサイトから、「FCアカウント」をダウンロードしてインストールします。

※コンピューターが再起動されますので、実行中のアプリケーションは、全て終了させておいてください。

- 1 インターネットの検索サイトで、「FC アカウント」を検索します。



- 2 検索結果の「FC アカウントご利用案内 | 福井コンピュータグループ」をクリックします。

検索結果に表示されない場合は、以下のアドレスを直接ブラウザに入力してください。

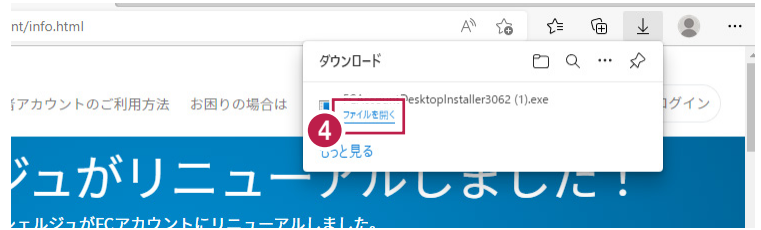
<https://hd.fukuicompu.co.jp/fc-account/info.html>



- 3 「FC アカウントをダウンロード」をクリックします。



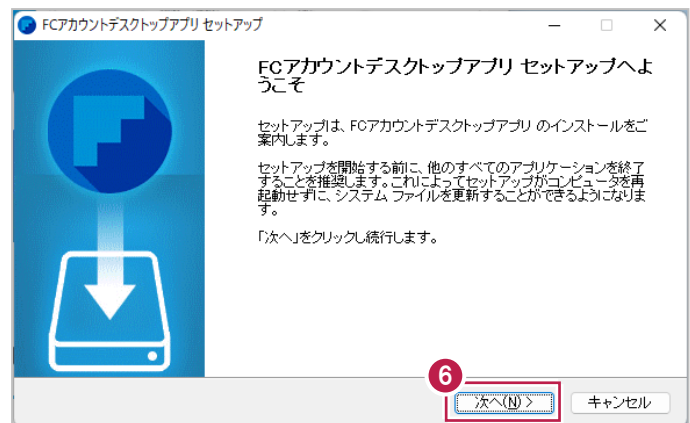
- 4 ファイルのダウンロードの画面が表示された場合は、「ファイルを開く」を押します。



- 5 ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は、「はい」をクリックします。

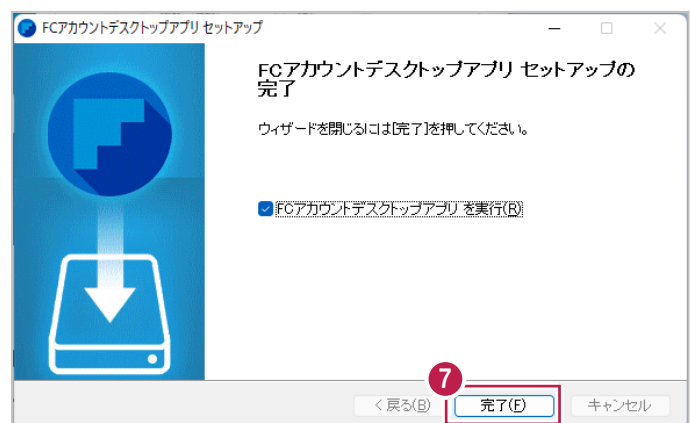


- 6 FC アカウントのセットアップが始まります。画面にしたがって、セットアップをおこなってください。



- 7 インストールが完了したら、「完了」をクリックします。

※ [FC アカウントデスクトップアプリを実行] がオンの状態で「完了」をクリックすると、自動的に FC アカウントのデスクトップ版が起動されます。



※ FC アカウントのデスクトップ版をインストールすると、デスクトップに FC アカウントを起動するアイコンが登録されます。



※ インストールしたデスクトップアプリ版で、FC アカウントを登録して製品をインストールします。

8 FCアカウントデスクトップ版で次の画面が開きます。「次のステップへ」を押します。

※ 他のパソコンで FC アカウントを登録済みの方は、「すでに FC アカウントをお持ちの方はログインへ」よりログインして、「インストール・バージョンアップ」より製品をインストールできます。



9 FC アカウントデスクトップ版を利用するお客様のメールアドレスを入力して、「確認コードを送信」を押します。

「次へ」をクリックして、ユーザー登録をおこないます。



10 入力したメールアドレス先にメールが届きます。メールに書かれているコードを「確認コード」に入力して「コードの確認」を押します。



- 11 「新しいパスワード」「パスワードの確認入力」（確認のため2回入力）「姓」「名」を入力し、利用規約を確認して「利用規約に同意」にチェックを付け「作成」を押します。

メールアドレスを確認しました。引き続きパスワード、姓、名を入力して「作成」を押してください。

11

新しいパスワード

パスワードの確認入力

姓

名

利用規約に同意（※ページ下部参照）

作成

< 戻る

- 12 「お客様情報の確認」を押します。

ご利用中の当社製品シリアルから当社でお預かりしているお客様情報と連携します

12 お客様情報の確認

< HOME

- 13 右記の画面が表示されますので、保守サービス中をご契約中の場合は「こちら」をクリックします。

シリアルが見つかりませんでした。

当社製品をご試用中のお客様をお試ください。保守サービスをご契約中のお客様は「こちら」で当社製品をインストールできます。

13

お客様情報の連携に関するお問い合わせはこちら

< HOME

- 14 「ユーザーコード」と「製品シリアル」を入力して「製品を表示する」を押します。

HOME > 保守契約プログラムのインストール

● 保守契約プログラムのインストール

ユーザーコードと製品シリアルを入力してください。インストール可能な製品が表示されます。
※ユーザーコードと製品シリアルについてはこちら

14

製品を表示する

※以上で、「FC アカウントのインストール」は完了です。

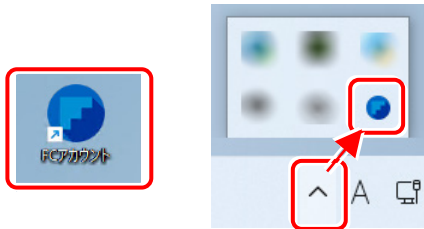


4

TREND-ONE のインストール

新パソコン（Windows11）にインストールしたFCアカウントを利用して、TREND-ONEを新規インストールする手順を解説します。

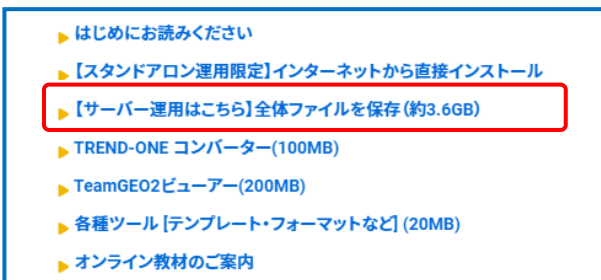
1. デスクトップのアイコン、または画面右下のタスクバーの通知領域のアイコンから、「FCアカウント」を開きます。



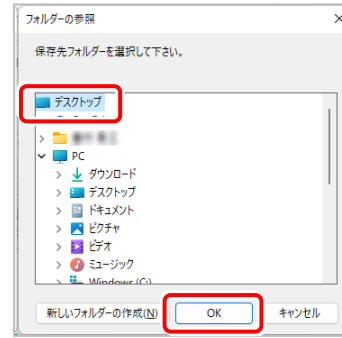
「インストール・バージョンアップ」のページにあるTREND-ONEの「インストール」ボタンをクリックします。



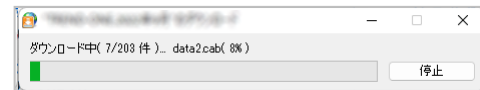
メニューが表示されますので、「【サーバー運用はこちら】全体ファイルを保存」をクリックします。



2. ダウンロードする全体ファイルの保存先を選択して、[OK]をクリックします。



3. ダウンロードが開始されます。



※ ダウンロードを中止するには、上記画面で[停止]をクリックしてダウンロードを一時停止してから、[X]ボタンでダウンロードをキャンセルしてください。

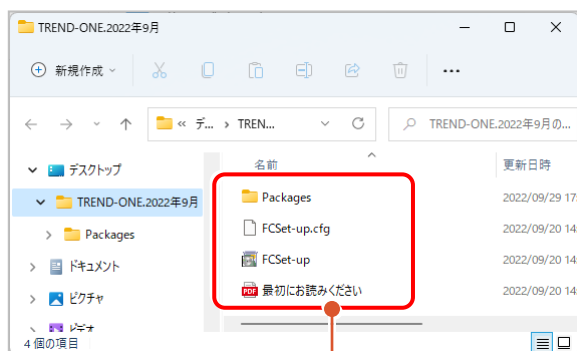
4. ダウンロードが完了すると、セットアップ画面が表示されます。

[閉じる]をクリックして画面を閉じます。

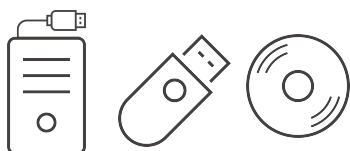


(次ページへ続く)

5. エクスプローラーなどを利用して、ダウンロードした全体ファイルを、外付けハードディスクなど他のメディアにコピーして保存します。



外付けのハードディスクなどのメディアにコピーして保存します。



以上で、全体ファイルの保存は完了です。
続いて次ページへ進み、プログラムをインストールします。

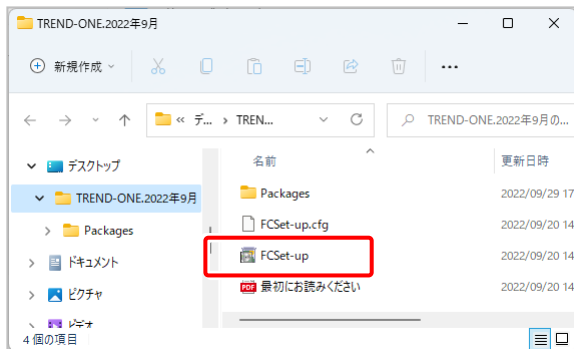
▼
(次ページへ続く)

まず、サーバーにプログラムをインストールします

1. 全体ファイルをコピーしたメディア（外付けハードディスクなど）を、サーバーにセットします。



2. エクスプローラーなどを利用して、ダウンロードした全体ファイルにある“FCSet-up.exe”を実行します。



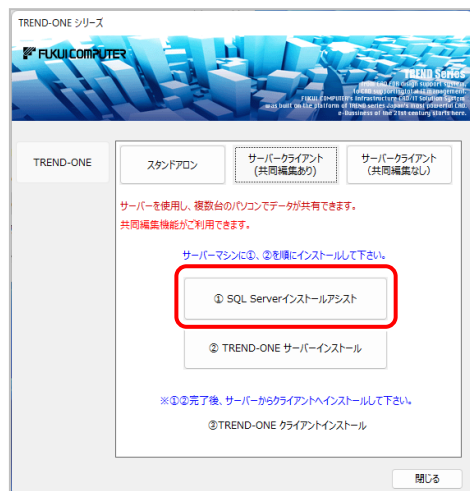
3. セットアップ画面が表示されます。



[サーバクライアント（共同編集あり）]タブを選択します。



[① SQLServer インストールアシスト]ボタンを押します。



(次ページへ続く)

4. 表示される画面に従って、インストールを進めます。

インストールアシストが不要な場合があります

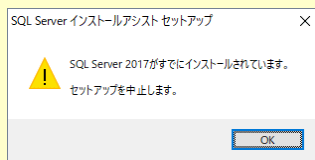
※ コンピューターに、既に製品版の「SQL Server」がインストール済みの場合は、「インストールアシスト」でSQL Serverをインストールしないでください。

次ページへ進んでください。

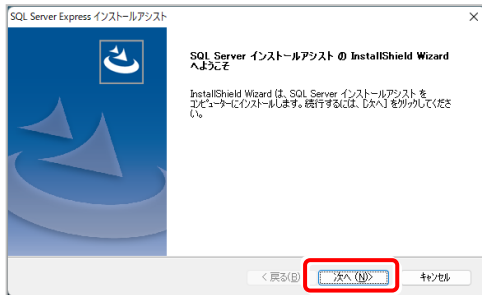
※ 「インストールアシスト」でSQL Serverをインストールする必要がない場合は、「セットアップ（インストール）を中止します。」とメッセージが表示されます。

次ページへ進んでください。

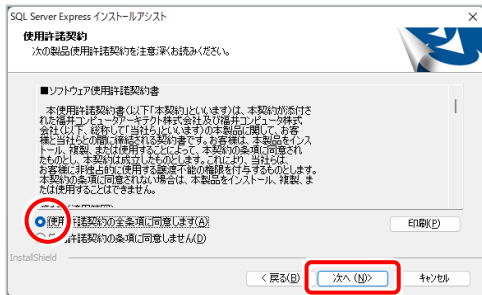
メッセージ例



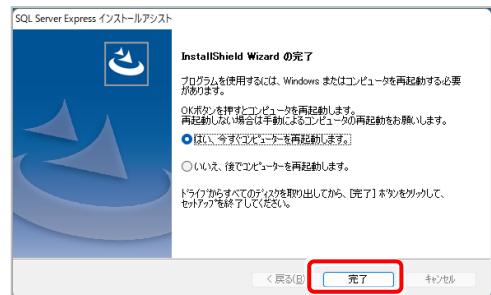
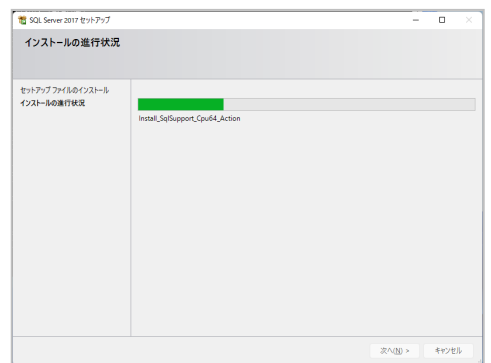
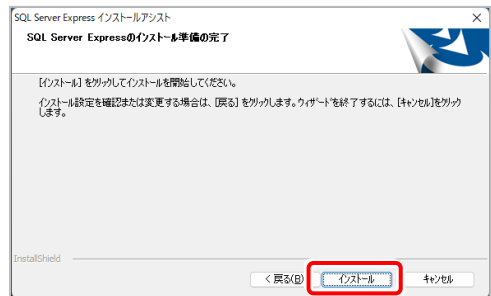
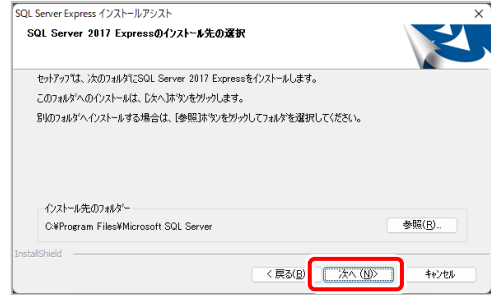
- ※ 画面は、環境によって異なる場合があります。
- ※ インストールには時間がかかる場合があります。



[使用許諾契約の全条項に同意します]を選択します。



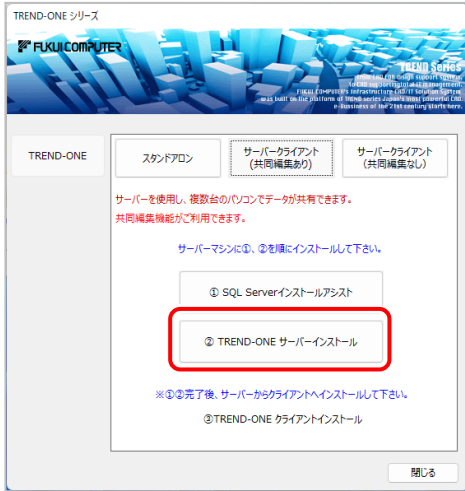
プログラムのインストール先を確認して次へ進みます。



※ 再起動が必要なメッセージが表示された場合は、メッセージに従って再起動してください。

(次ページへ続く)

5. サーバーで、セットアップ画面の[② TREND-ONE サーバーインストール]ボタンを押します。



6. インストール環境の確認画面が表示されます。すべての項目を確認してチェックしてから、[次へ]ボタンを押します。



表示される画面に従って、インストールを進めます。



[ソフトウェア使用許諾契約の全条項に同意します]を選択します。

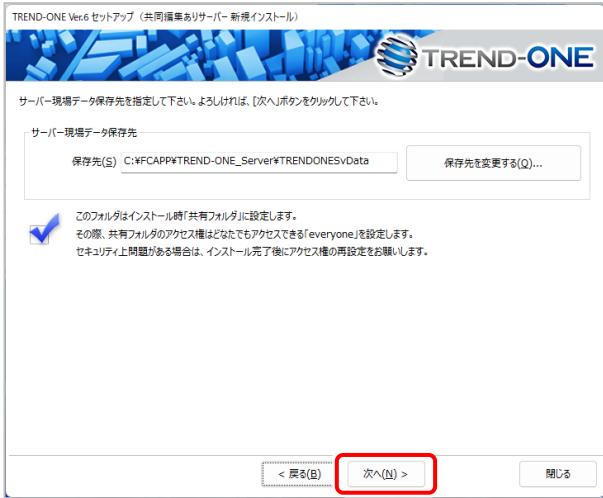


プログラムのインストール先を確認して次へ進みます。

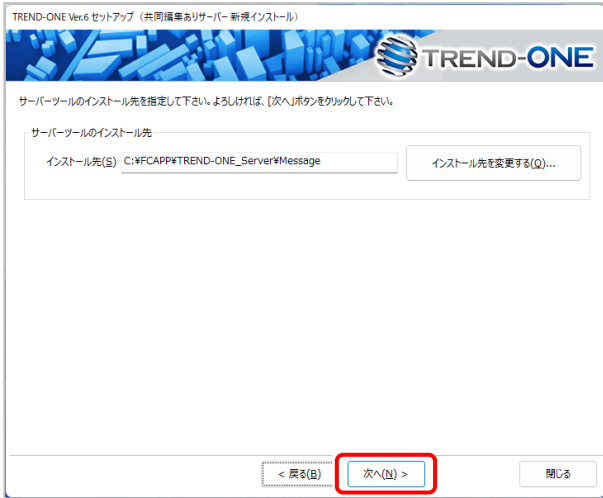


(次ページへ続く)

サーバー現場データの保存先を確認して、[次へ]を押します。



サーバーツールのインストール先を確認して、[次へ]を押します。



内容を確認して、[セットアップ開始]を押します。プログラムのインストールが開始されます。



インストールが終わったら、[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について]を確認します。

確認を終えたら、[閉じる]を押します。



ウイルスセキュリティソフトの誤認識について

ウイルスセキュリティソフトの誤認識により、TREND-ONEが正常に動作しない場合があります。

誤認識を防ぐためには、セキュリティソフト側で「検出の除外」を設定する必要がある場合があります。

「検出の除外」の設定手順については、[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について]ボタンから表示される資料を参考にしてください。

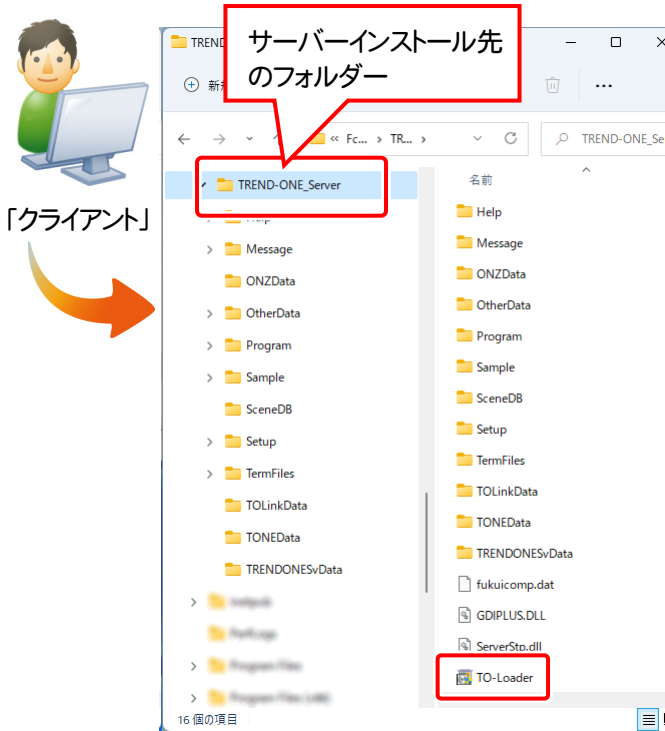
以上で、サーバーのインストールは完了です。

続いて次ページへ進み、クライアントにインストールします。

(次ページへ続く)

次に、クライアントにプログラムをインストールします

1. クライアントからエクスプローラーでサーバーを参照して、サーバーインストール先のフォルダーにある、「TO-Loader.exe」を実行します。



2. インストール環境の確認画面が表示されます。すべての項目を確認してチェックしてから、[次へ]ボタンを押します。



表示される画面に従って、インストールを進めます。



[ソフトウェア使用許諾契約の全条項に同意します]を選択します。



(次ページへ続く)

コンピューターの時計、使用するプロテクト（「プロテクト」タイプ）、インストール先フォルダーを確認します。
必要があれば、変更してください。

設定を終えたら、[次へ]を押します。

時計を確認してください

コンピューターの時計が正しくないと、プロテクトが正常に動作しません。

プロテクトを確認してください

プロテクトが「ネット認証ライセンス(占有)」になっていることを確認してください。

インストール先のフォルダーを確認してください

インストール先を変更する場合は、[インストール先を変更する]ボタンから表示されるダイアログで、インストール先のフォルダーを指定します。

サーバー名を確認して次へ進みます。

内容を確認して、[セットアップ開始]を押します。
プログラムのインストールが開始されます。

インストールが終わったら、[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について]を確認します。

確認を終えたら、[閉じる]を押します。

再起動が必要な場合は、再起動してください。

ウイルスセキュリティソフトの誤認識について

ウイルスセキュリティソフトの誤認識により、TREND-ONEが正常に動作しない場合があります。

誤認識を防ぐためには、セキュリティソフト側で「検出の除外」を設定する必要がある場合があります。

「検出の除外」の設定手順については、[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について]ボタンから表示される資料を参考にしてください。

以上で、「TREND-ONEのインストール」は完了です。



5 ライセンスの認証

新パソコン（Windows11）でプログラムを起動して、ネット認証ライセンス（占有）の「プロダクトIDの認証」をおこないます。

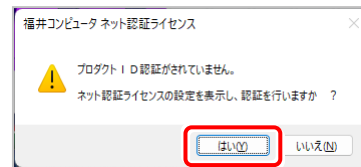
※ プロダクトIDの認証時は、インターネットに接続された環境が必要です。

5-1 ネット認証ライセンス（占有）の、プロダクトID認証手順

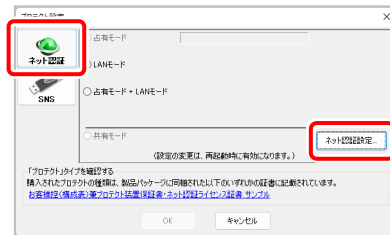
1. デスクトップの[TREND-ONE]をダブルクリックして起動します。



2. プロダクトID認証のメッセージが表示された場合は、[はい]を押して、ネット認証ライセンス（占有）の認証をおこないます。

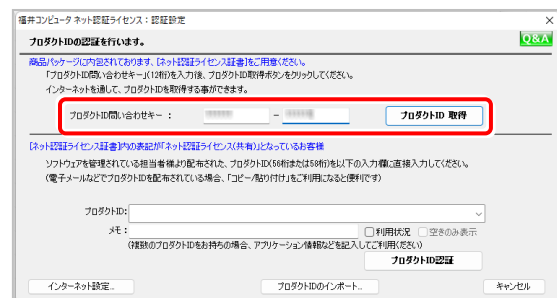


[プロテクト設定]画面が表示された場合は、[ネット認証]を選択して、[ネット認証設定]を押します。

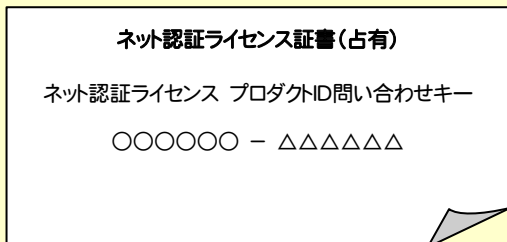


3. [プロダクトID問い合わせキー]を入力して、[プロダクトID取得]ボタンを押します。

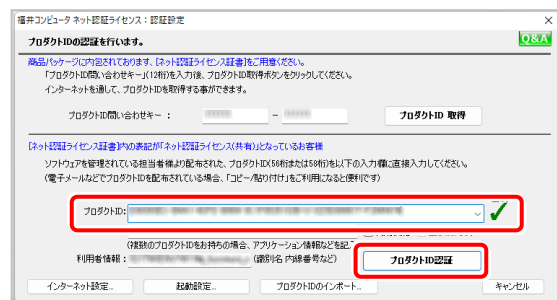
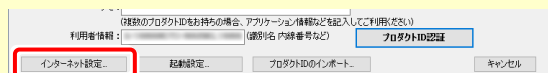
[プロダクトID]が取得されたのを確認したら、[プロダクトID認証]ボタンを押します。



[プロダクトID問い合わせキー]は 6桁+6桁 です。
送付される「ネット認証ライセンス証書(占有)」に記載されています。



※ プロダクトIDの取得や認証が正常にできない場合は、[インターネット設定]ボタンを押して、プロキシ設定を変更してみてください。



(次ページへ続く)

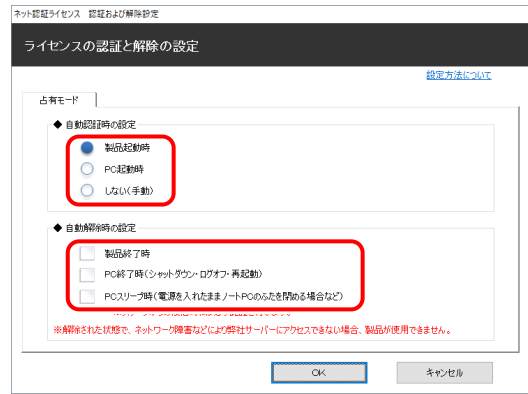
4. 「ライセンスの認証と解除の設定」画面が表示されます。
 お客様のご利用環境に合わせて、「自動認証時の設定」と「自動解除時の設定」を設定してください。

自動解除は、以下の様な使用方法の時に設定します

事務所内など、常時インターネット接続が可能な環境で使用しており、

- 複数人でライセンスを使用する場合。
- 他のコンピューターでもライセンスを使用する場合。
- 商品構成の異なるプロダクトIDを、都度切り替えて使用する場合。

※ 自動解除の設定はお客様のご判断でご使用ください。



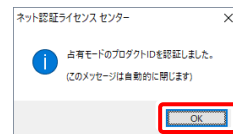
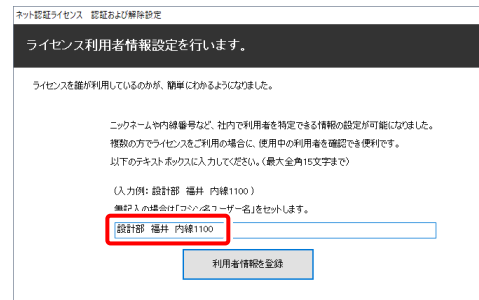
設定を終えたら、[OK] ボタンを押します。



利用者情報を入力して登録してください。

【利用者情報】は、プロダクトIDの利用状況（誰が使用しているか、どのコンピューターで使用されているか等）を確認する際に利用されます。

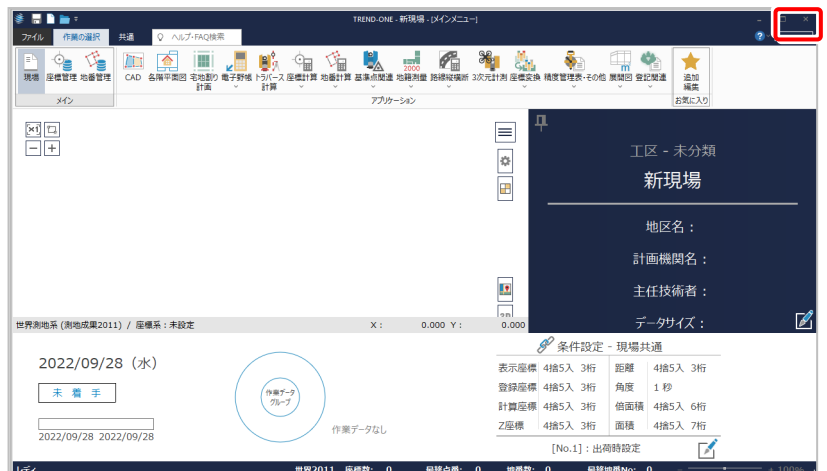
内線番号やニックネーム、コンピューターの識別名などを入力してください。



5. プログラムが起動します。

ここでは一旦プログラム右上の「×」ボタンをクリックして、プログラムを終了します。

以上で「ライセンスの認証」は完了です。





6

データ・設定のリストア（復元）

旧パソコン（Windows8.1）でバックアップしたTREND-ONEの「サーバー現場データ」、「ローカル現場データ」、「全設定」を、新パソコン（Windows11）のTREND-ONEにリストア（復元）します。

6-1 「サーバー現場データ」をリストア（復元）する

「サーバー現場データ」のバックアップファイルを使用して、サーバーに「サーバー現場データ」をリストア（復元）する手順です。

「サーバー現場データのリストア（復元）」は、サーバーでおこないます。

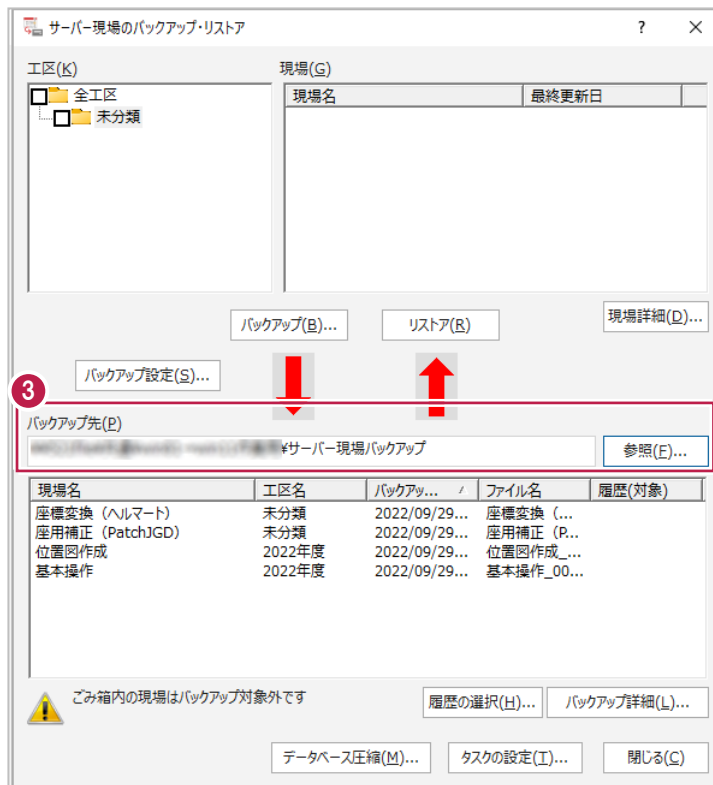
- 1 サーバーに、「サーバー現場データ」のバックアップファイルを保存したメディア（外付けハードディスクなど）をセットします。



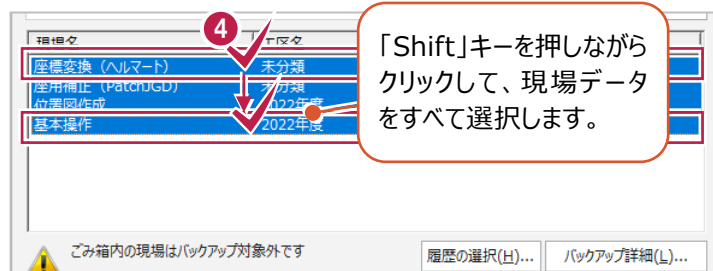
- 2 サーバーのデスクトップにある
[TREND-ONE バックアップツール]
をダブルクリック、または
[スタートメニュー] - [すべてのアプリ]
[FukuiComputerApplication] -
[バックアップツール]
をクリックして、「サーバーバックアップツール」を
起動します。



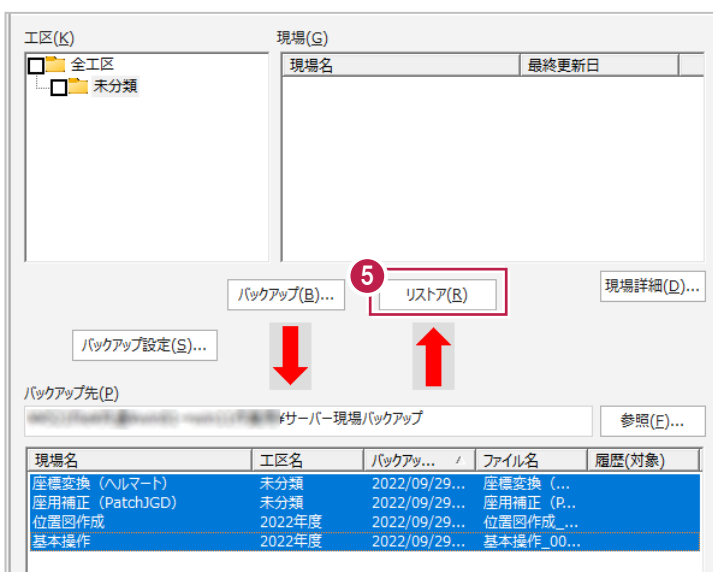
- ③ [バックアップ先] で、「サーバー現場データ」のバックアップファイルが保存されているフォルダーを指定します。



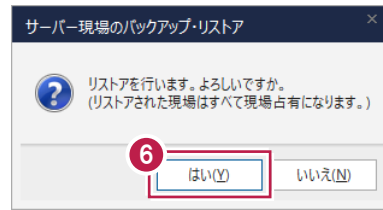
- ④ 一番上の現場データをクリックした後、「Shift」キーを押しながら、一番下の現場データをクリックして、現場データをすべて選択します。



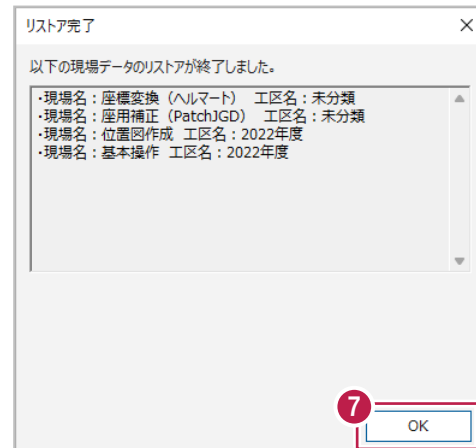
- ⑤ [リストア] をクリックします。



- 6 [はい] をクリックします。
リストア（復元）が開始されます。



- 7 リストアが終了したら、[OK] をクリックします。



- 8 リストア（復元）された「工区」と「現場」を確認します。



- 9 [閉じる] をクリックして、「サーバーバックアップツール」を終了します。

以上で「サーバー現場データのリストア（復元）」は完了です。

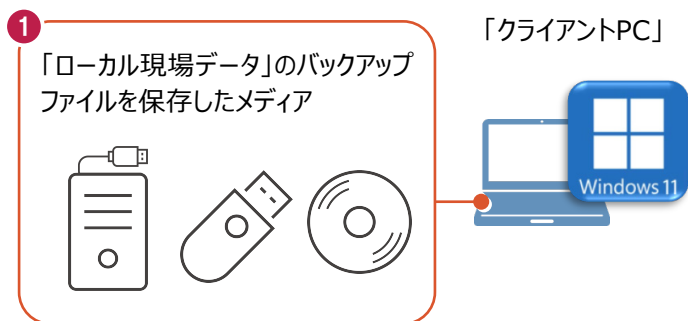
6-2 「ローカル現場データ」をリストア（復元）する

「ローカル現場」のバックアップファイルを使用して、クライアントPCのローカル現場データをリストア（復元）する手順です。
※現場管理以外のプログラムは終了しておいてください。

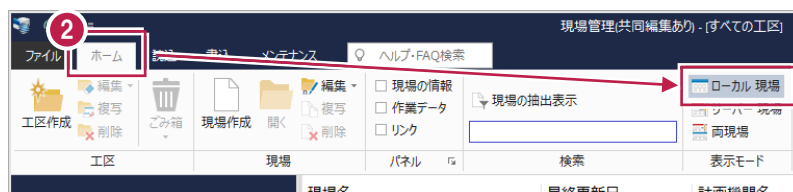
「ローカル現場データのリストア（復元）」は、すべてのクライアントPCでおこないます。

※ただし、ローカル現場を持たないPCでは、必要ありません。

- 1 クライアント PC に、「ローカル現場データ」のバックアップファイルを保存したメディア（外付けハードディスクなど）をセットします。



- 2 現場管理を起動して、[ホーム] タブ → [表示モード] グループ → [ローカル現場] をクリックします。



- 3 [読込] タブ → [リストア] グループ → [現場] をクリックします。

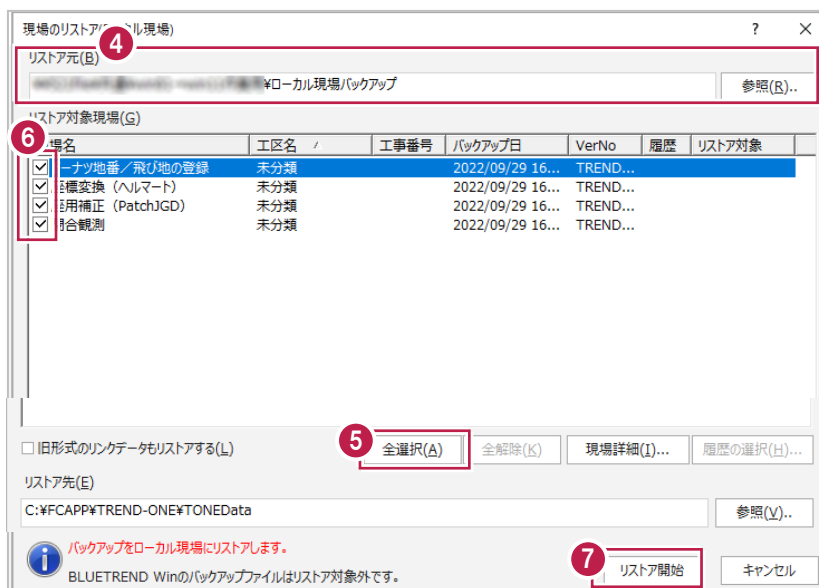


- 4 現場データのバックアップファイルが保存されているフォルダーを指定します。

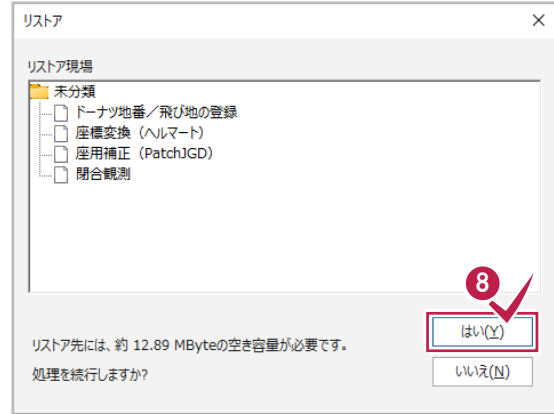
- 5 [全選択] をクリックします。

- 6 リストア対象現場のチェックが、すべて「オン」になっていることを確認します。

- 7 [リストア開始] をクリックします。



- 8 [はい] をクリックします。
リストア（復元）が開始されます。



- 9 リストア（復元）が終了したら、[OK] をクリックします。
以上で「ローカル現場データのリストア（復元）」は完了です。

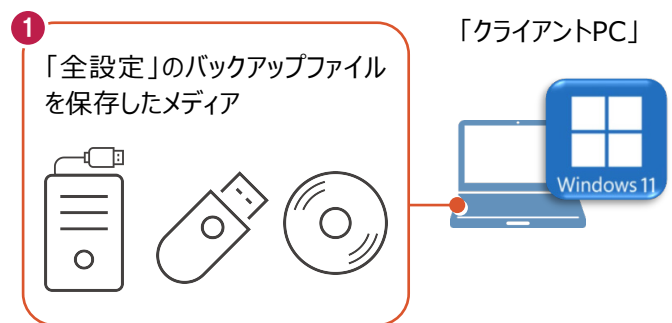


6-3 サーバーの「全設定」をリストア（復元）する

「全設定」のバックアップファイルを使用して、サーバーの全設定をリストア（復元）する手順です。
※現場管理以外のプログラムは終了しておいてください。

「サーバーの全設定のリストア（復元）」は、いずれか1台のクライアントPCでおこないます。
※他ユーザーが現場を起動していないことを確認してください。

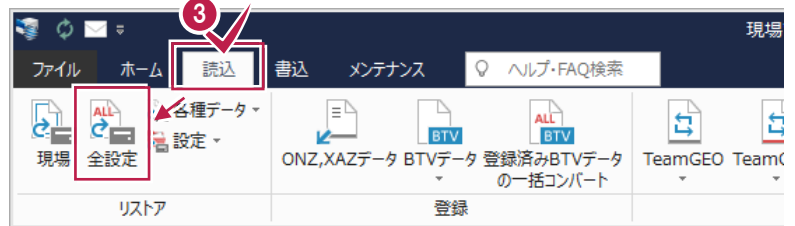
- 1 いずれか 1 台のクライアント PC に、「全設定」のバックアップファイルを保存したメディア（外付けハードディスクなど）をセットします。



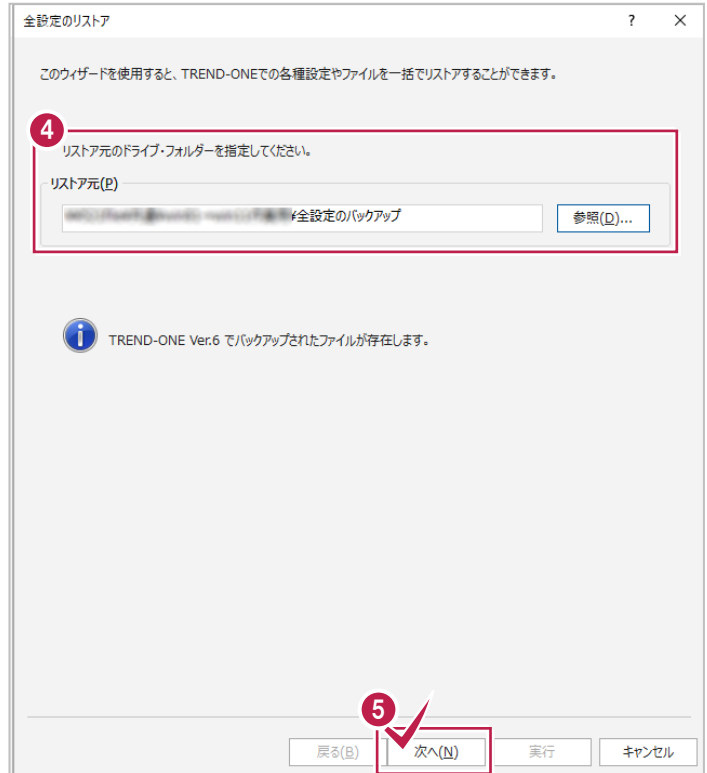
- 2 現場管理を起動して、[ホーム] タブ [表示モード] グループ [ローカル現場] をクリックします。



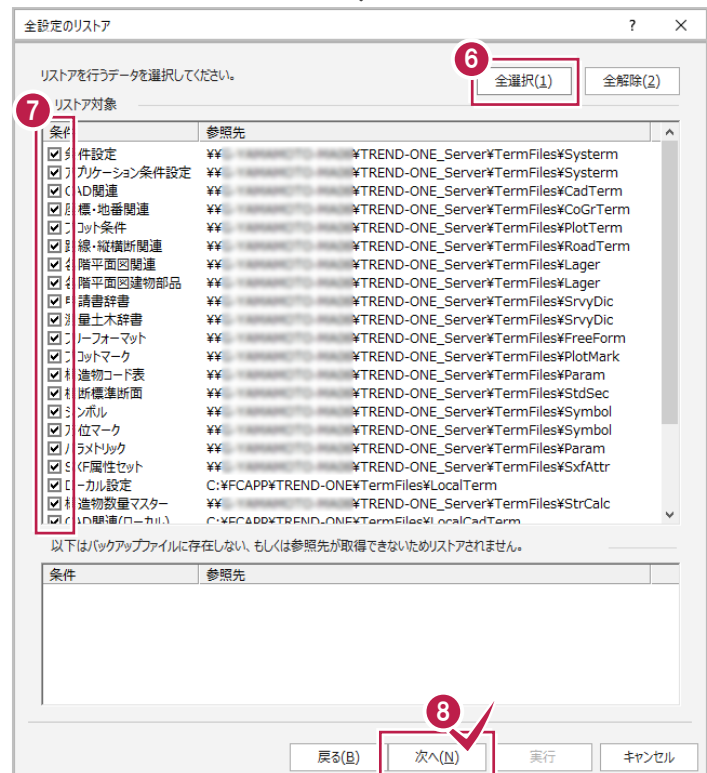
- 3 [読込] タブ [リストア] グループ [全設定] をクリックします。



- 4 全設定のバックアップファイルが保存されているフォルダーを指定します。



- 5 [次へ] をクリックします。



- 7 条件のチェックが、すべて「オン」になっていることを確認します。

- 8 [次へ] をクリックします。

9 [実行] をクリックします。

リストア（復元）が開始されます。

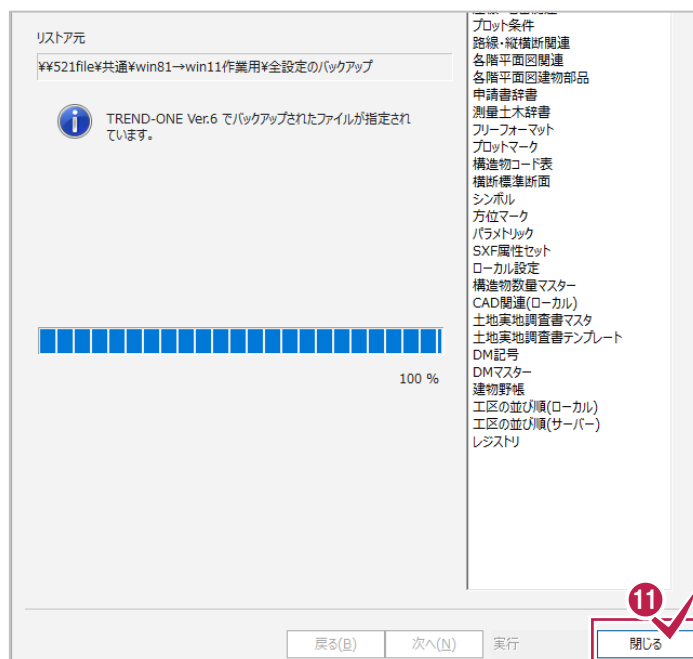


10 リストア（復元）が終了したら、[OK] をクリックします。



11 [閉じる] をクリックします。

以上でサーバーの「全設定のリストア（復元）」は完了です。

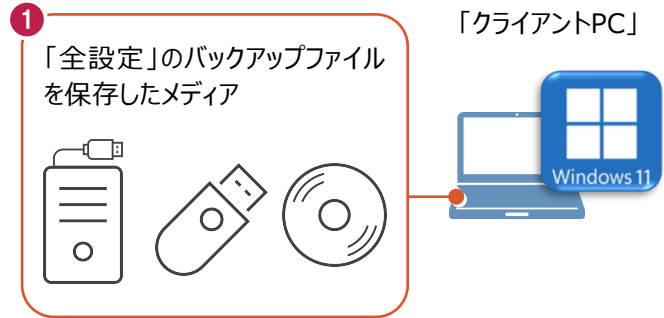


6-4 クライアントPCの「全設定」をリストア（復元）する

「全設定」のバックアップファイルを使用して、各クライアントPCに保存される設定（レジストリなど）をリストア（復元）する手順です。 ※現場管理以外のプログラムは終了しておいてください。

「クライアント PC の全設定のリストア（復元）」は、すべてのクライアント PCでおこないます。

- 1 クライアントPCに、「全設定」のバックアップファイルを保存したメディア（外付けハードディスクなど）をセットします。



- 2 現場管理を起動して、[ホーム] タブ [表示モード] グループ [ローカル現場] をクリックします。



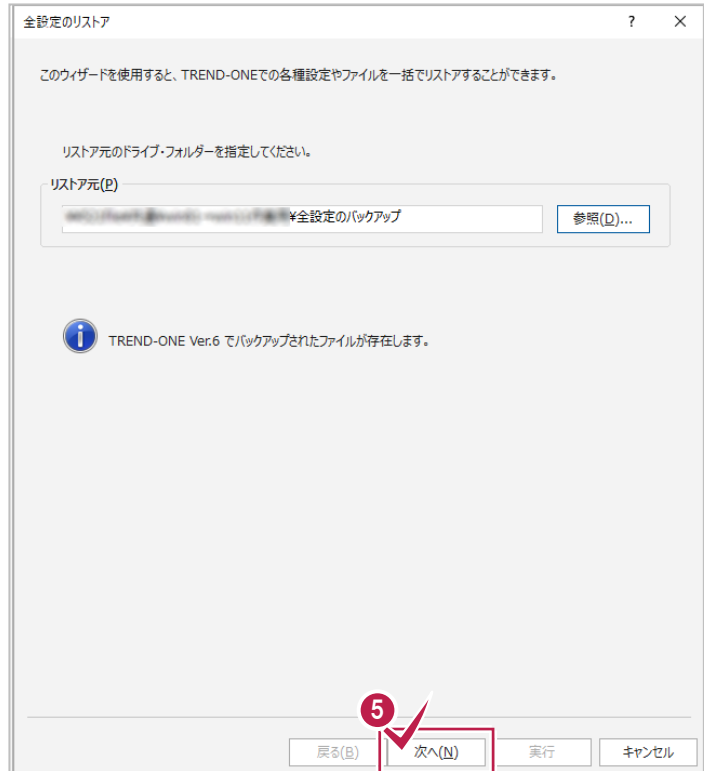
- 3 [読込] タブ [リストア] グループ [全設定] をクリックします。



- 4 全設定のバックアップファイルが保存されているフォルダーを指定します。



5 [次へ] をクリックします。

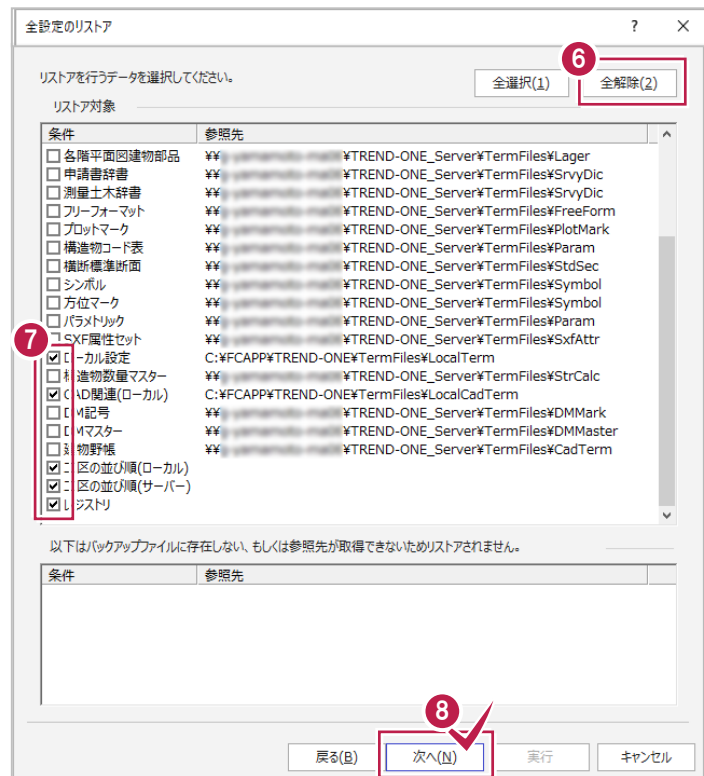


6 [全解除] をクリックします。

7 以下の条件のチェックのみ、「オン」にします。

- ・ ローカル設定
- ・ CAD 関連（ローカル）
- ・ 工区の並び順（ローカル）
- ・ 工区の並び順（サーバー）
- ・ レジストリ

8 [次へ] をクリックします。



- 9 [実行] をクリックします。
リストア（復元）が開始されます。

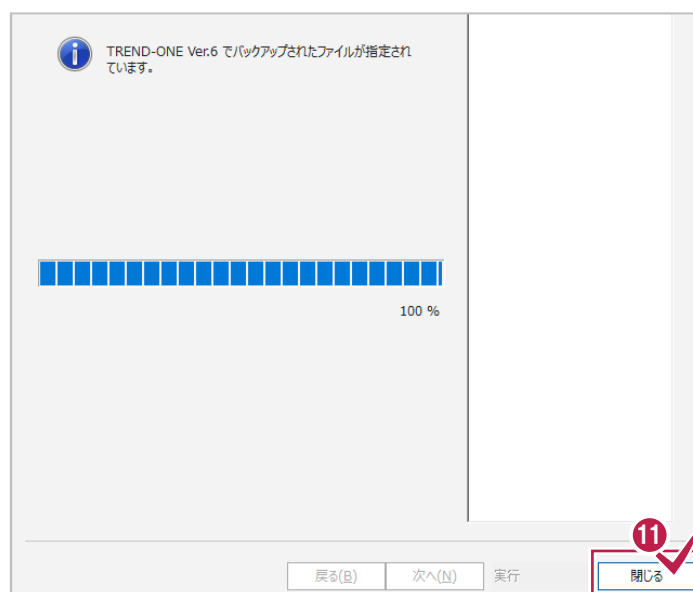


- 10 リストア（復元）が終了したら、[OK] をクリックします。



- 11 [閉じる] をクリックします。

以上で「クライアント PC の全設定のリストア（復元）」は完了です。





7

セキュリティソフトの除外設定

セキュリティソフトに誤認識されてしまうと、起動や保存障害などの不具合が生じることがあります。このような状態を事前に回避するため、弊社プログラムがウイルスの検出対象にならないように、セキュリティソフト側であらかじめ除外設定（検出対象から除外する設定）する手順について解説します。

7-1 除外設定の手順書を開く

① お客様サポートの「インストール/認証・起動」をクリックします。



② 「その他お困りごと」をクリックします。



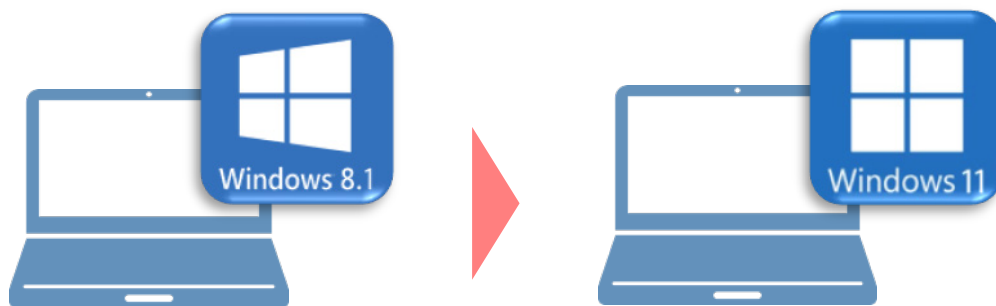
- ③ 「セキュリティソフトの除外設定について」の「セキュリティソフトの除外設定方法」をクリックします。
内容を確認してください。

- ④ セキュリティソフトの手順書が表示されます。
お使いになっているセキュリティソフトをクリックすると、除外設定の手順書が表示されます。
手順書を参考にして、セキュリティソフトの除外設定をおこなってください。

No.	セキュリティソフトメーカー	ソフト別手順書
④ 1	トレンドマイクロ	ウイルスバスター クラウド Ver.16 ※NTTフレックスウイルスクリア・セキュリティ対策ツールもこちら ビジネスセキュリティ クライアント ビジネスセキュリティ サーバー ウイルスバスター コーポレートエディション（クライアント） ウイルスバスター コーポレートエディション（サーバー）
2	ノートン シマンテック	ノートン セキュリティ ノートン インターネットセキュリティ ノートン アンチウイルス ノートン 360 エンドポイント プロテクション エンドポイント プロテクション クラウド
3	マイクロソフト	セキュリティ エssenシャルズ Windows Defender Windows セキュリティセンター
4	ソースネクスト	ウイルスセキュリティ ゼロ スーパーセキュリティ ゼロ
5	カスペルスキー	インターネット セキュリティ ※@Niftyの常時安全セキュリティ24もこちら エンドポイント セキュリティ
6	リブセーフ	リブセーフ Ver.16

新しいパソコンへの、データ・設定の移行の流れ

サーバークライアント（共同編集なし）用



Windows8.1 での作業

- ① データ・設定のバックアップ
- ② ライセンスの解除

Windows11 での作業

- ③ FC アカウントのインストール
- ④ TREND-ONE のインストール
- ⑤ ライセンスの認証
- ⑥ データ・設定のリストア（復元）
- ⑦ セキュリティソフトの除外設定

サーバクライアント（共同編集なし）用



Windows8.1 での作業

- ① データ・設定のバックアップ
- ② ライセンスの解除



1

データ・設定のバックアップ

まず、旧パソコン（Windows8.1）のTREND-ONEで、「現場データ」と「設定」をバックアップします。

1-1 現場データをバックアップする

現場データをバックアップする手順です。 ※現場管理以外のプログラムは終了しておいてください。

「現場データ」のバックアップは、いずれか1台のクライアント PC でおこないます。

サーバーに保存されている「現場データ」をバックアップします。すべてのクライアントPCでおこなう必要はありません。

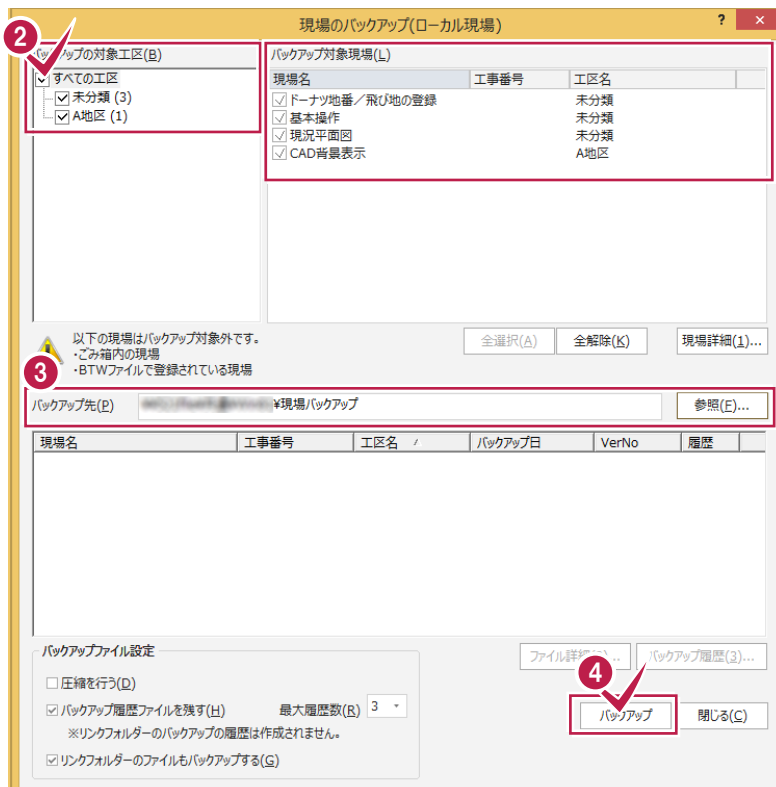
※他ユーザーが現場を起動していないことを確認してください。

- 1 現場管理を起動して、[書込] タブ → [バックアップ] グループ → [現場] をクリックします。



- 2 「すべての工区」のチェックを「オン」にします。

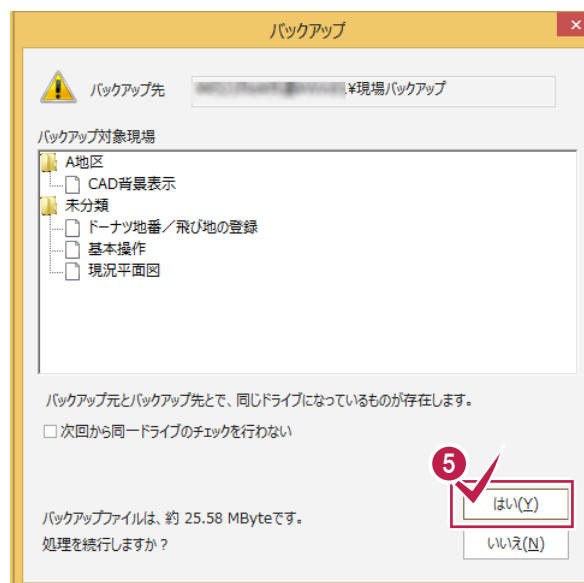
[バックアップ対象工区] のすべての工区と、
[バックアップ対象現場] のすべての現場の
チェックが「オン」になったことを確認します。



- 3 バックアップ先のフォルダーを指定します。

- 4 [バックアップ] をクリックします。

- 5 [はい] をクリックします。
バックアップが開始されます。

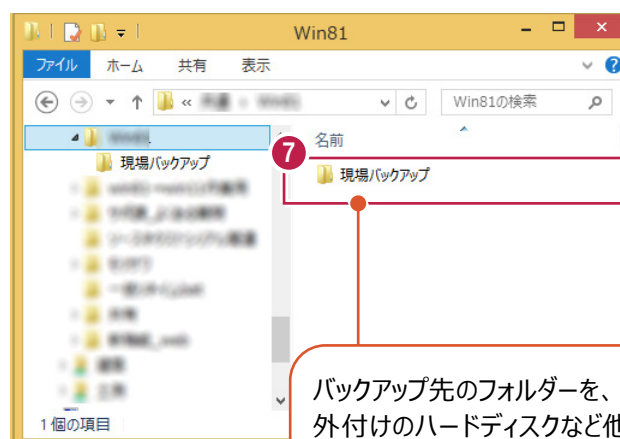


- 6 バックアップが終了したら、[OK] をクリックします。



- 7 バックアップ先のフォルダーを、外付けのハードディスクなど他のメディアにコピーします。

以上で、「現場データのバックアップ」は完了です。



バックアップ先のフォルダーを、外付けのハードディスクなど他のメディアにコピーして保存します。



1-2 全設定をバックアップする

サーバーと各クライアントPCに保存されている全設定をバックアップする手順です。

※現場管理以外のプログラムは終了しておいてください。

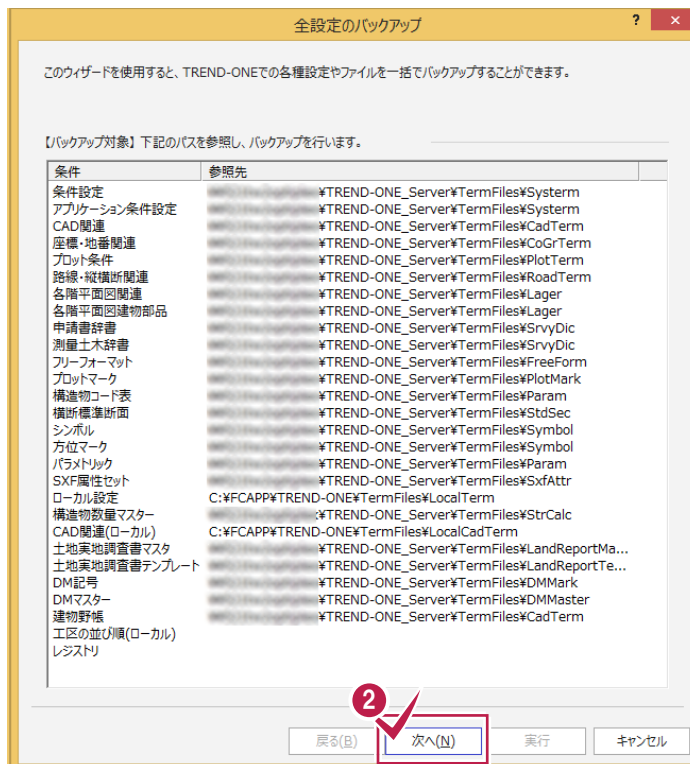
「全設定」のバックアップは、すべてのクライアント PC でおこないます。

※他ユーザーが現場を起動していないことを確認してください。

- 1 現場管理の [書込] タブ - [バックアップ] グループ - [全設定] をクリックします。

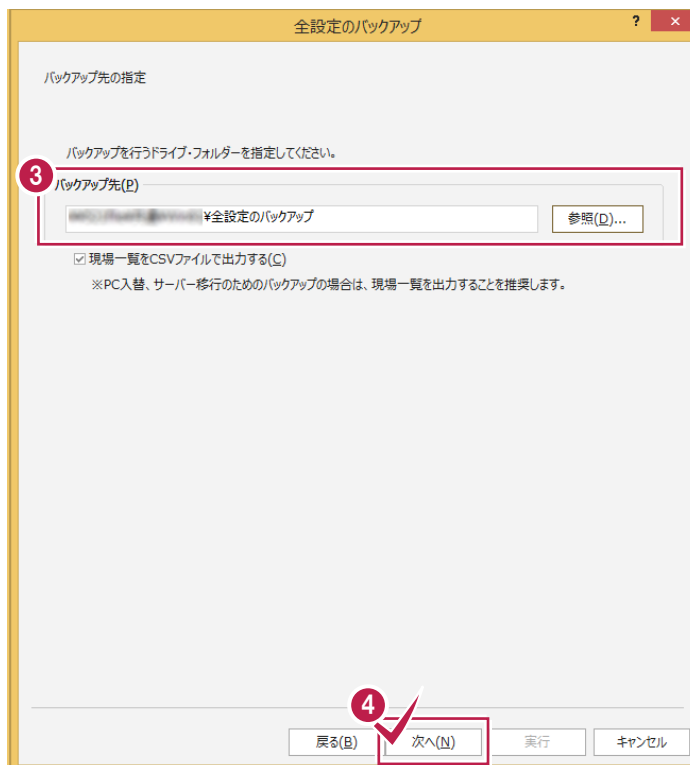


- 2 バックアップされる条件を確認して [次へ] をクリックします。

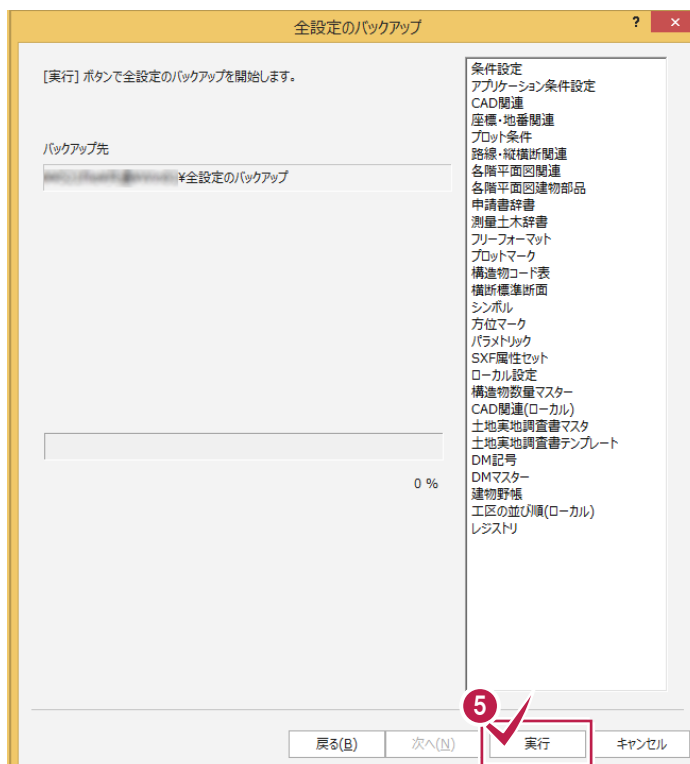


3 バックアップ先のフォルダーを指定します。

4 [次へ] をクリックします。



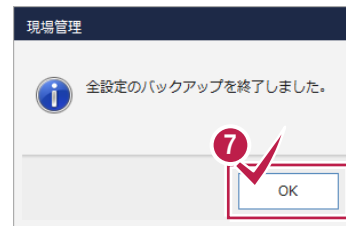
5 [実行] をクリックします。



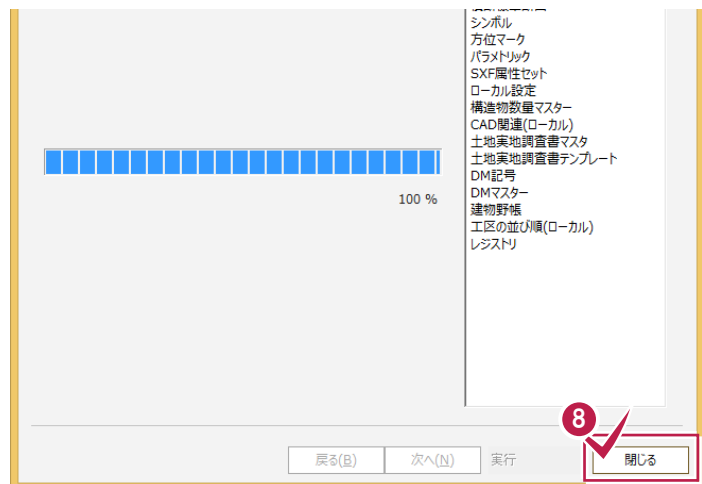
- 6 [はい] をクリックします。
バックアップが開始されます。



- 7 バックアップが終了したら [OK] をクリックします。

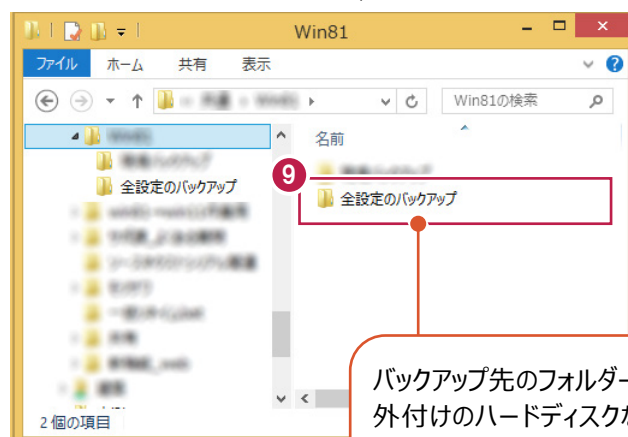


- 8 [閉じる] をクリックします。



- 9 バックアップ先のフォルダーを、外付けのハードディスクなど他のメディアにコピーします。

以上で、「全設定のバックアップ」は完了です。



バックアップ先のフォルダーを、外付けのハードディスクなど他のメディアにコピーして保存します。





2 ライセンスの解除

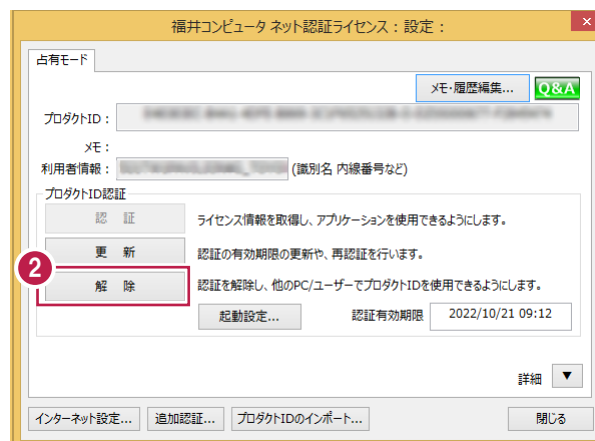
旧パソコン（Windows8.1）で使用している「ネット認証ライセンス（占有）」を解除します。
ライセンスを解除しないと、新パソコン（Windows11）でライセンスを認証することができません。

2-1 ネット認証ライセンス（占有）を解除する

- 画面右下のタスクバーの通知領域にある、「FC ネット認証ライセンスセンター」のアイコンをクリックします。

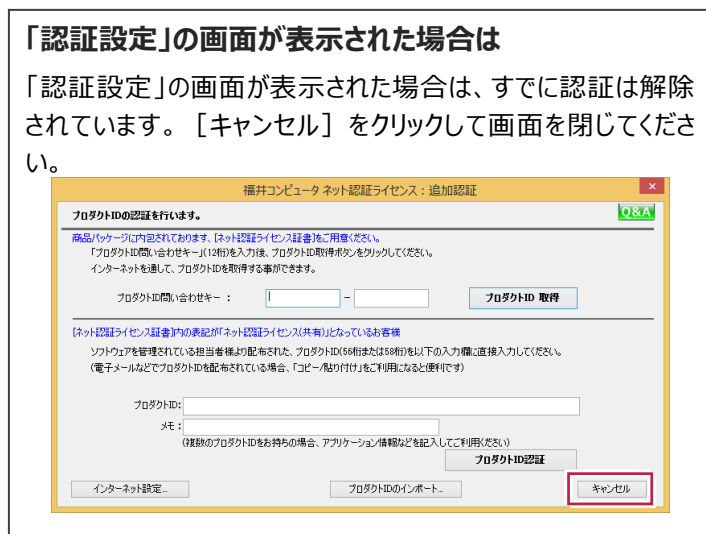


- ネット認証ライセンスの「設定」画面が表示されます。
[解除] を押すとネット認証が解除されます。



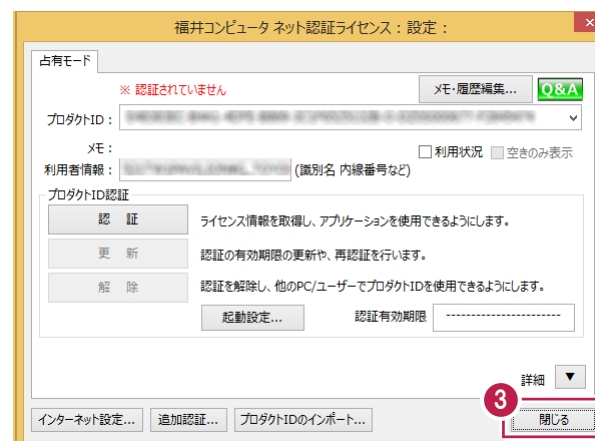
「認証設定」の画面が表示された場合は

「認証設定」の画面が表示された場合は、すでに認証は解除されています。[キャンセル] をクリックして画面を閉じてください。



- [閉じる] をクリックして画面を閉じます。

以上で、「ライセンスの解除」は完了です。



サーバクライアント（共同編集なし）用



Windows11 での作業

- ③ FC アカウントのインストール
- ④ TREND-ONE のインストール
- ⑤ ライセンスの認証
- ⑥ データ・設定のリストア（復元）
- ⑦ セキュリティソフトの除外設定



3

FC アカウントのインストール

新パソコン（Window11）に、TREND-ONEの最新プログラムをダウンロードするのに必要な「FCアカウント」をインストールします。

3-1 FCアカウントをダウンロードしてインストールする

弊社WEBサイトから、「FCアカウント」をダウンロードしてインストールします。

※コンピューターが再起動されますので、実行中のアプリケーションは、全て終了させておいてください。

- 1 インターネットの検索サイトで、「FC アカウント」を検索します。



- 2 検索結果の「FC アカウントご利用案内 | 福井コンピュータグループ」をクリックします。

検索結果に表示されない場合は、以下のアドレスを直接ブラウザに入力してください。

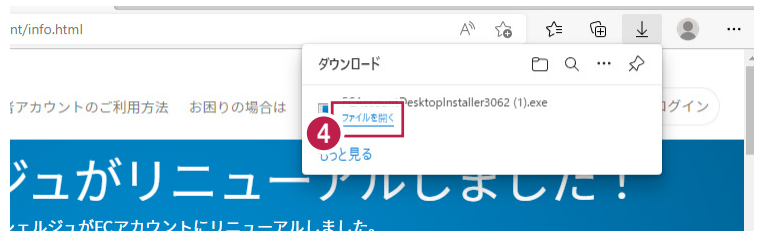
<https://hd.fukuicompu.co.jp/fc-account/info.html>



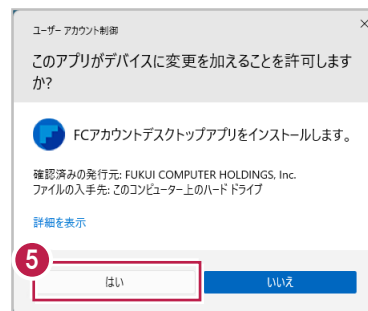
- 3 「FC アカウントをダウンロード」をクリックします。



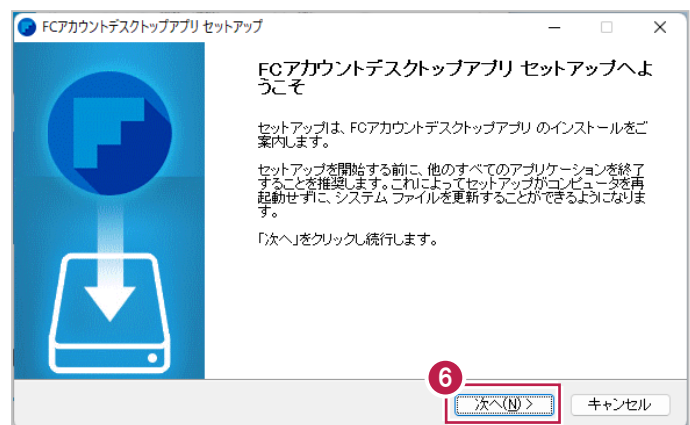
- 4 ファイルのダウンロードの画面が表示された場合は、「ファイルを開く」を押します。



- 5 ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は、「はい」をクリックします。

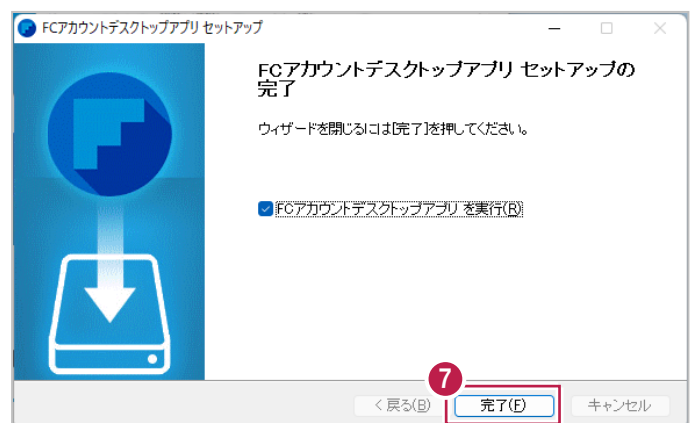


- 6 FC アカウントのセットアップが開始されます。画面にしたがって、セットアップをおこなってください。



- 7 インストールが完了したら、「完了」をクリックします。

※ [FC アカウントデスクトップアプリを実行] がオンの状態で「完了」をクリックすると、自動的に FC アカウントのデスクトップ版が起動されます。



※ FC アカウントのデスクトップ版をインストールすると、デスクトップに FC アカウントを起動するアイコンが登録されます。



※ インストールしたデスクトップアプリ版で、FC アカウントを登録して製品をインストールします。

8 FCアカウントデスクトップ版で次の画面が開きます。「次のステップへ」を押します。

※ 他のパソコンで FC アカウントを登録済みの方は、「すでに FC アカウントをお持ちの方はログインへ」よりログインして、「インストール・バージョンアップ」より製品をインストールできます。



9 FC アカウントデスクトップ版を利用するお客様のメールアドレスを入力して、「確認コードを送信」を押します。

「次へ」をクリックして、ユーザー登録をおこないます。



10 入力したメールアドレス先にメールが届きます。メールに書かれているコードを「確認コード」に入力して「コードの確認」を押します。



- 11 「新しいパスワード」「パスワードの確認入力」（確認のため2回入力）「姓」「名」を入力し、利用規約を確認して「利用規約に同意」にチェックを付け「作成」を押します。

メールアドレスを確認しました。引き続きパスワード、姓、名を入力して「作成」を押してください。

11

新しいパスワード

パスワードの確認入力

姓

名

利用規約に同意（※ページ下部参照）

作成

< 戻る

- 12 「お客様情報の確認」を押します。

ご利用中の当社製品シリアルから当社でお預かりしているお客様情報と連携します

12 お客様情報の確認

< HOME

- 13 右記の画面が表示されますので、保守サービス中をご契約中の場合は「こちら」をクリックします。

シリアルが見つかりませんでした。

当社製品をご契約中の場合、一度お試しください。

保守サービスをご契約中の方は「こちら」で当社製品をインストールできます。

13 お客様情報の連携に関するお問い合わせはこちら

< HOME

- 14 「ユーザーコード」と「製品シリアル」を入力して「製品を表示する」を押します。

HOME > 保守契約プログラムのインストール

14

保守契約プログラムのインストール

ユーザーコードと製品シリアルを入力してください。インストール可能な製品が表示されます。
※ユーザーコードと製品シリアルについては [こちら](#)

製品を表示する

※以上で、「FC アカウントのインストール」は完了です。

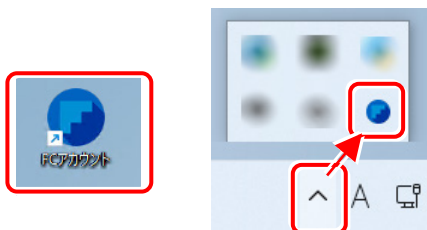


4

TREND-ONE のインストール

新パソコン（Windows11）にインストールしたFCアカウントを利用して、TREND-ONEを新規インストールする手順を解説します。

1. デスクトップのアイコン、または画面右下のタスクバーの通知領域のアイコンから、「FCアカウント」を開きます。



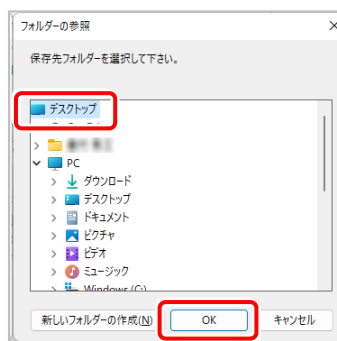
「インストール・バージョンアップ」のページにあるTREND-ONEの「インストール」ボタンをクリックします。



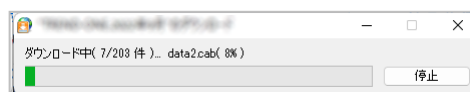
メニューが表示されますので、「【サーバー運用はこちら】全体ファイルを保存」をクリックします。

- ▶ はじめにお読みください
- ▶ 【スタンドアロン運用限定】インターネットから直接インストール
- ▶ 【サーバー運用はこちら】全体ファイルを保存 (約3.6GB)
- ▶ TREND-ONE コンバーター(100MB)
- ▶ TeamGEO2ビューアー(200MB)
- ▶ 各種ツール [テンプレート・フォーマットなど] (20MB)
- ▶ オンライン教材のご案内

2. ダウンロードする全体ファイルの保存先を選択して、[OK]をクリックします。



3. ダウンロードが開始されます。



※ ダウンロードを中止するには、上記画面で[停止]をクリックしてダウンロードを一時停止してから、[X]ボタンでダウンロードをキャンセルしてください。

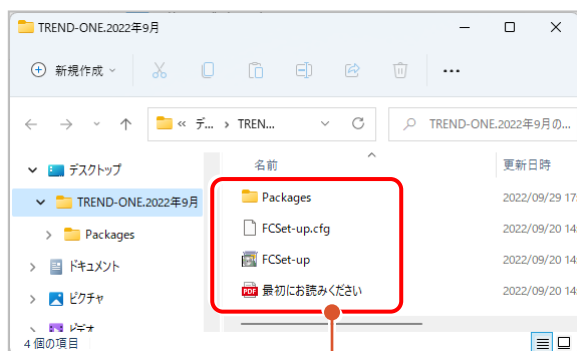
4. ダウンロードが完了すると、セットアップ画面が表示されます。

[閉じる]をクリックして画面を閉じます。

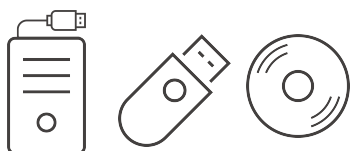


(次ページへ続く)

5. エクスプローラーなどを利用して、ダウンロードした全体ファイルを、外付けハードディスクなど他のメディアにコピーして保存します。



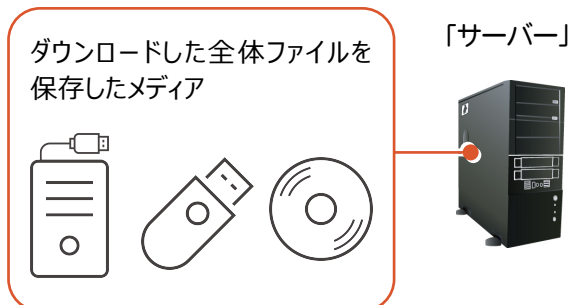
外付けのハードディスクなど他のメディアにコピーして保存します。



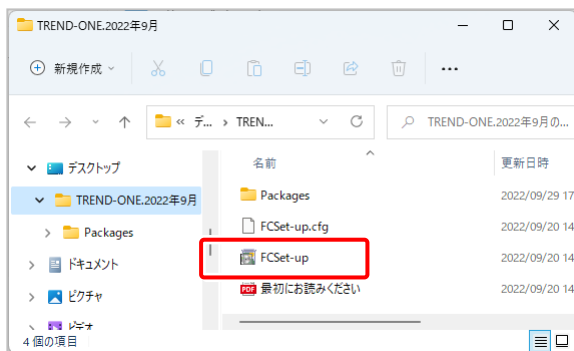
（次ページへ続く）

まず、サーバーにプログラムをインストールします

1. 全体ファイルをコピーしたメディア（外付けハードディスクなど）を、サーバーにセットします。



2. エクスプローラーなどを利用して、ダウンロードした全体ファイルにある“FCSet-up.exe”を実行します。



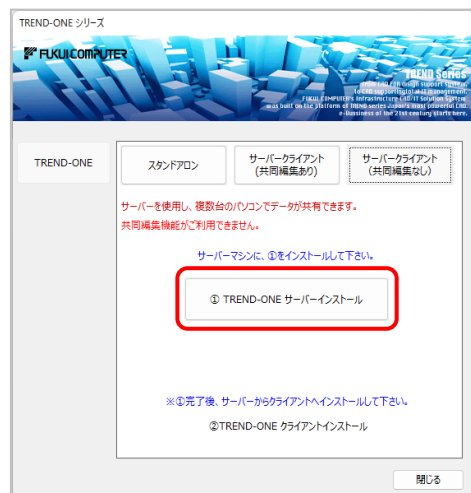
3. セットアップ画面が表示されます。



[サーバクライアント(共同編集なし)]タブを選択します。



[① TREND-ONE サーバインストール]ボタンを押します。



(次ページへ続きます)

4. 表示される画面に従って、インストールを進めます。



[ソフトウェア使用許諾契約の全条項に同意します]を選択します。



プログラムのインストール先を確認して次へ進みます。



内容を確認して、[セットアップ開始]を押します。プログラムのインストールが開始されます。



(次ページへ続きます)

インストールが終わったら、[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について]を確認します。



ウイルスセキュリティソフトの誤認識について

ウイルスセキュリティソフトの誤認識により、TREND-ONEが正常に動作しない場合があります。

誤認識を防ぐためには、セキュリティソフト側で「検出の除外」を設定する必要がある場合があります。

「検出の除外」の設定手順については、「ウイルスセキュリティソフトの誤認識について」ボタンから表示される資料を参考にしてください。

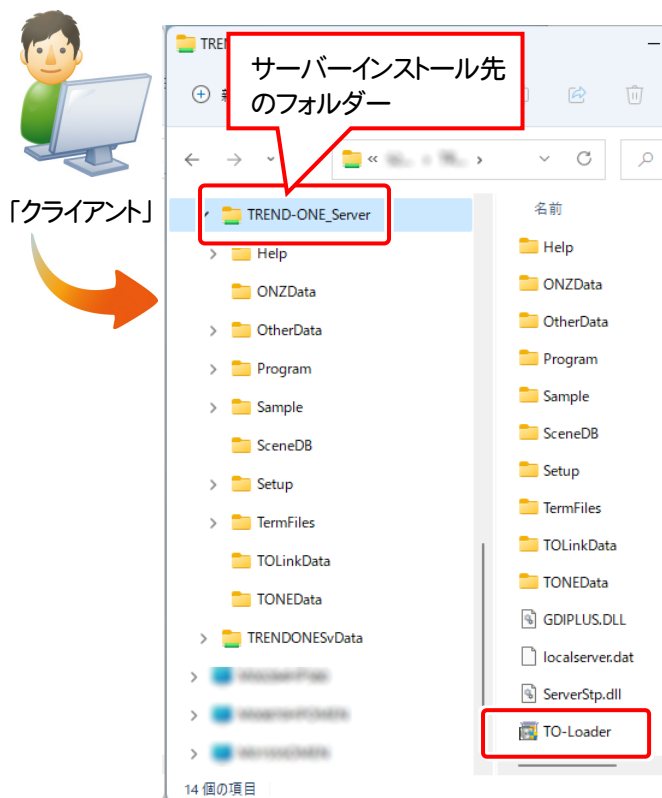
確認を終えたら、[閉じる]を押します。



(次ページへ続きます)

次に、クライアントにプログラムをインストールします

1. クライアントからエクスプローラーでサーバーを参照して、サーバーインストール先のフォルダーにある、“TO-Loader.exe”を実行します。



2. 表示される画面に従って、インストールを進めます。



[ソフトウェア使用許諾契約の全条項に同意します]を選択します。



(次ページへ続きます)

コンピューターの時計、使用するプロテクト（「プロテクト」タイプ）、インストール先フォルダーを確認します。
必要があれば、変更してください。

設定を終えたら、[次へ]を押します。



時計を確認してください

コンピューターの時計が正しくないと、プロテクトが正常に動作しません。

プロテクトを確認してください

プロテクトが「ネット認証ライセンス(占有)」になっていることを確認してください。

インストール先のフォルダーを確認してください

インストール先を変更する場合は、[インストール先を変更する]ボタンから表示されるダイアログで、インストール先のフォルダーを指定します。

内容を確認して、[セットアップ開始]を押します。
プログラムのインストールが開始されます。



インストールが終わったら、[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について]を確認します。



ウイルスセキュリティソフトの誤認識について

ウイルスセキュリティソフトの誤認識により、TREND-ONEが正常に動作しない場合があります。

誤認識を防ぐためには、セキュリティソフト側で「検出の除外」を設定する必要があります場合があります。

「検出の除外」の設定手順については、[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について]ボタンから表示される資料を参考にしてください。

確認を終えたら、[閉じる]を押します。

再起動が必要な場合は、再起動してください。



以上で、「TREND-ONEのインストール」は完了です。



5 ライセンスの認証

新パソコン（Windows11）でプログラムを起動して、ネット認証ライセンス（占有）の「プロダクトIDの認証」をおこないます。

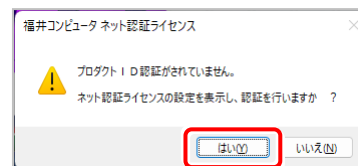
※ プロダクトIDの認証時は、インターネットに接続された環境が必要です。

5-1 ネット認証ライセンス（占有）の、プロダクトID認証手順

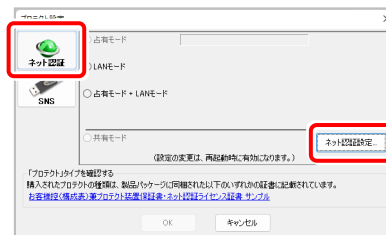
1. デスクトップの[TREND-ONE]をダブルクリックして起動します。



2. プロダクトID認証のメッセージが表示された場合は、[はい]を押して、ネット認証ライセンス（占有）の認証をおこないます。

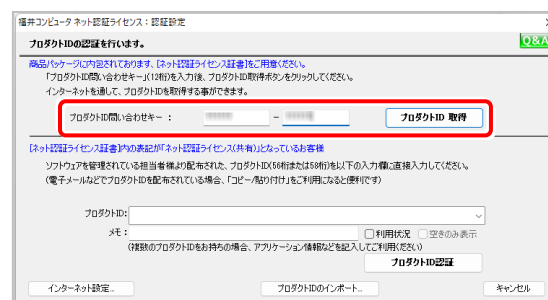


[プロテクト設定]画面が表示された場合は、[ネット認証]を選択して、[ネット認証設定]を押します。

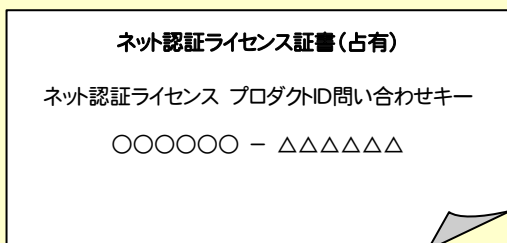


3. [プロダクトID問い合わせキー]を入力して、[プロダクトID取得]ボタンを押します。

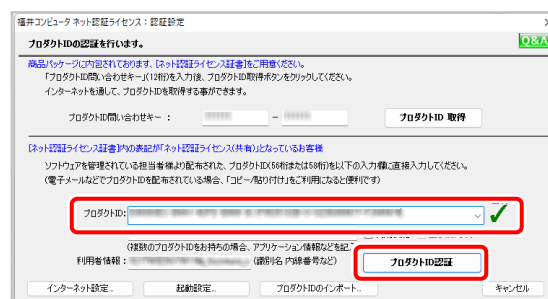
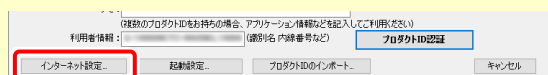
[プロダクトID]が取得されたのを確認したら、[プロダクトID認証]ボタンを押します。



[プロダクトID問い合わせキー]は 6桁+6桁 です。
送付される「ネット認証ライセンス証書(占有)」に記載されています。



※ プロダクトIDの取得や認証が正常にできない場合は、[インターネット設定]ボタンを押して、プロキシ設定を変更してみてください。



(次ページへ続く)

4. 「ライセンスの認証と解除の設定」画面が表示されます。
 お客様のご利用環境に合わせて、「自動認証時の設定」と「自動解除時の設定」を設定してください。

自動解除は、以下の様な使用方法の時に設定します

事務所内など、常時インターネット接続が可能な環境で使用しており、

- 複数人でライセンスを使用する場合。
- 他のコンピューターでもライセンスを使用する場合。
- 商品構成の異なるプロダクトIDを、都度切り替えて使用する場合。

※ 自動解除の設定はお客様のご判断でご使用ください。



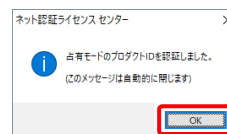
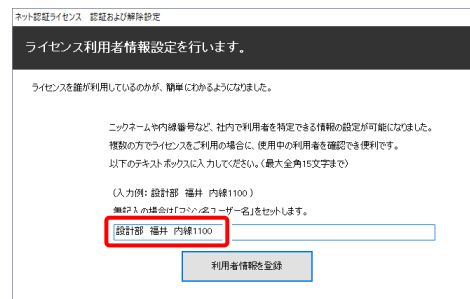
設定を終えたら、[OK] ボタンを押します。



利用者情報を入力して登録してください。

【利用者情報】は、プロダクトIDの利用状況（誰が使用しているか、どのコンピューターで使用されているか等）を確認する際に利用されます。

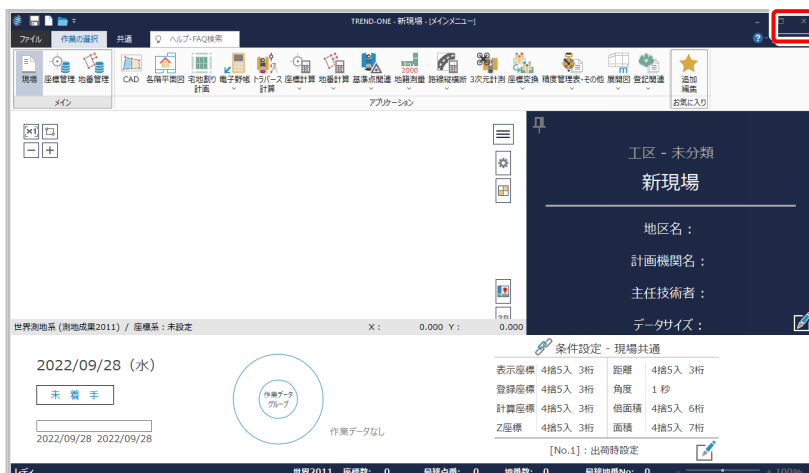
内線番号やニックネーム、コンピューターの識別名などを入力してください。



5. プログラムが起動します。

ここでは一旦プログラム右上の「×」ボタンをクリックして、プログラムを終了します。

以上で「ライセンスの認証」は完了です。





6 データ・設定のリストア（復元）

旧パソコン（Windows8.1）でバックアップしたTREND-ONEの「現場データ」と「全設定」を、新パソコン（Windows11）のTREND-ONEにリストア（復元）します。

6-1 「現場データ」をリストア（復元）する

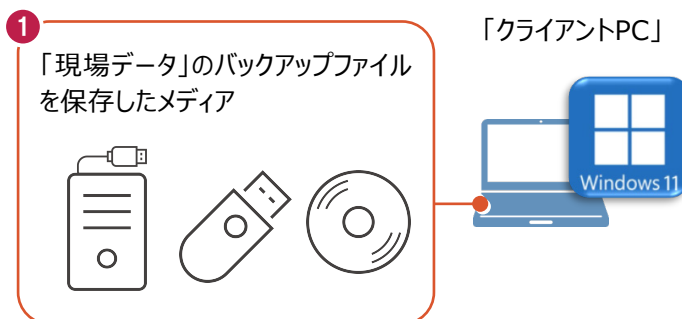
「現場データ」のバックアップファイルを使用して、サーバーに現場データをリストア（復元）する手順です。

※現場管理以外のプログラムは終了しておいてください。

「現場データ」のリストア（復元）は、いずれか1台のクライアントPCでおこないます。

サーバーに「現場データ」をリストア（復元）します。すべてのPCでおこなう必要はありません。

- 1 いずれか1台のクライアントPCに、「現場データ」のバックアップファイルを保存したメディア（外付けハードディスクなど）をセットします。



- 2 現場管理を起動して、[読込] タブ → [リストア] グループ → [現場] をクリックします。

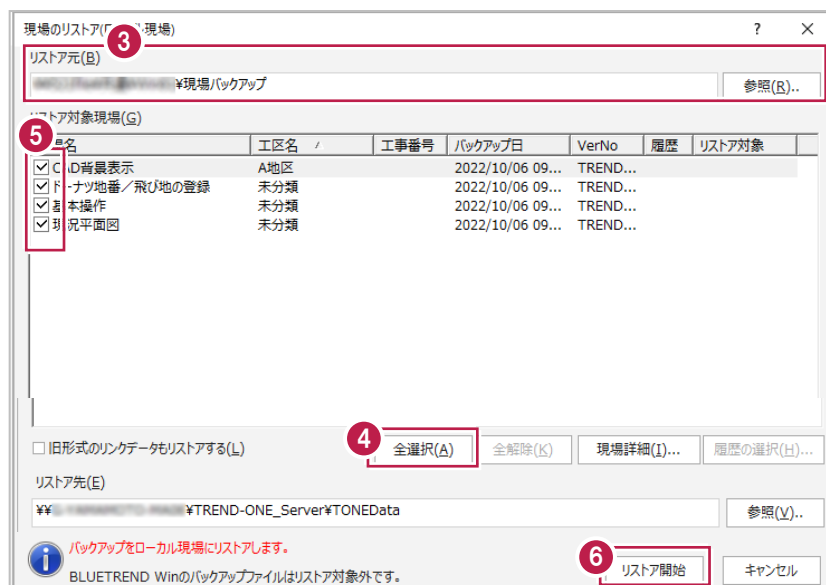


- 3 現場データのバックアップファイルが保存されているフォルダーを指定します。

- 4 [全選択] をクリックします。

- 5 リストア対象現場のチェックが、すべて「オン」になっていることを確認します。

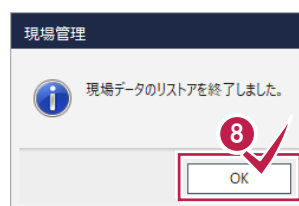
- 6 [リストア開始] をクリックします。



- 7 [はい] をクリックします。
リストア（復元）が開始されます。



- 8 リストア（復元）が終了したら、[OK] をクリックします。
以上で「現場データのリストア（復元）」は完了です。

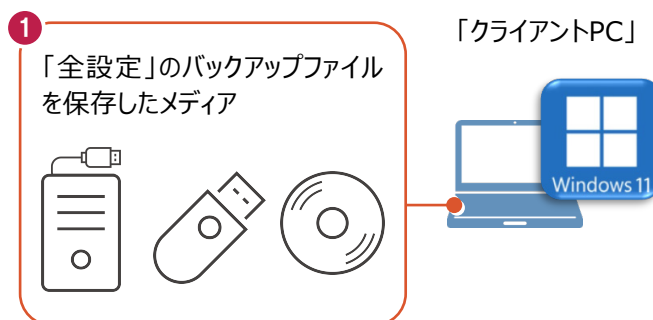


6-2 サーバーの「全設定」をリストア（復元）する

「全設定」のバックアップファイルを使用して、サーバーの全設定をリストア（復元）する手順です。
※現場管理以外のプログラムは終了しておいてください。

「サーバーの全設定のリストア（復元）」は、いずれか1台のクライアントPCでおこないます。
※他ユーザーが現場を起動していないことを確認してください。

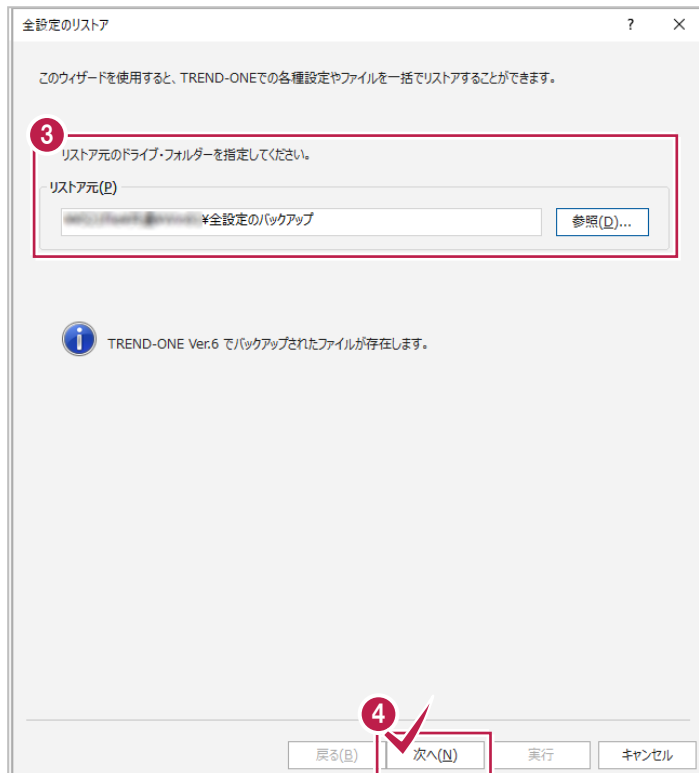
- 1 いずれか1台のクライアントPCに、「全設定」のバックアップファイルを保存したメディア（外付けハードディスクなど）をセットします。



- 2 現場管理を起動して、[読込] タブ [リストア] グループ [全設定] をクリックします。



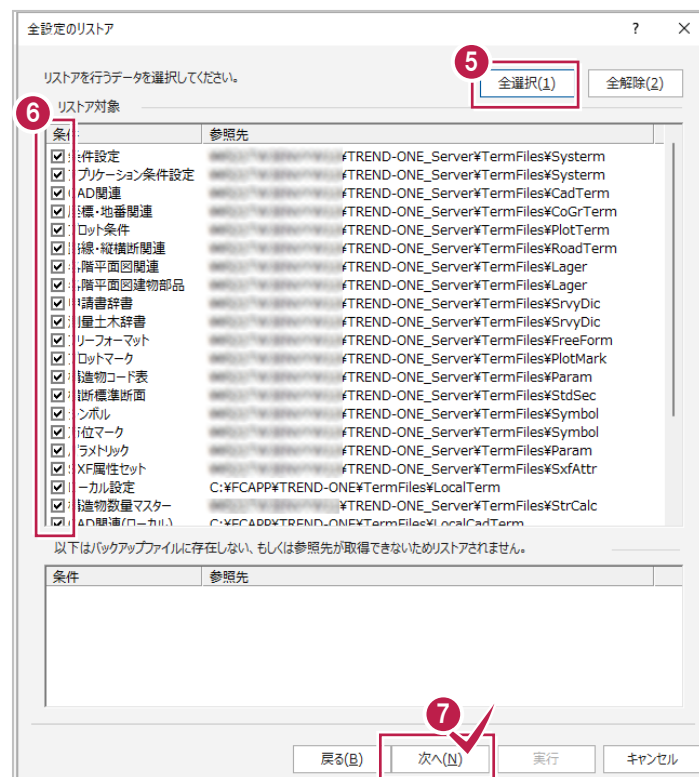
- ③ 全設定のバックアップファイルが保存されているフォルダーを指定します。



- ④ [次へ] をクリックします。

- ⑤ [全選択] をクリックします。

- ⑥ 条件のチェックが、すべて「オン」になっていることを確認します。



- ⑦ [次へ] をクリックします。

8 [実行] をクリックします。

リストア（復元）が開始されます。

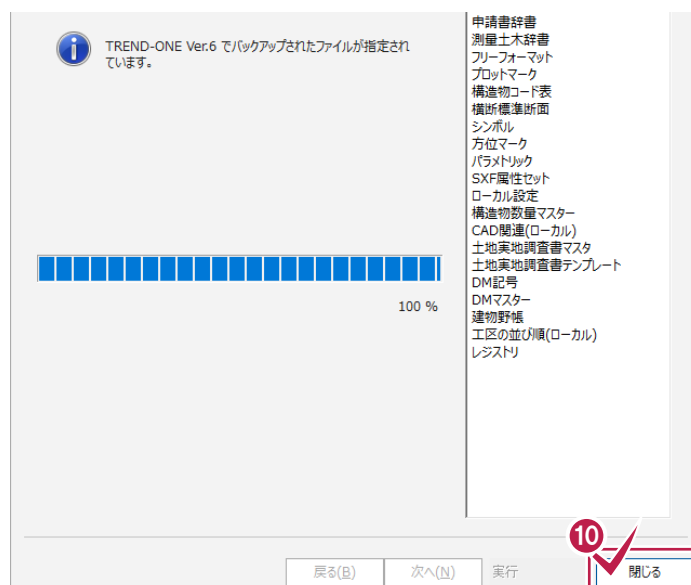


9 リストア（復元）が終了したら、[OK] をクリックします。



10 [閉じる] をクリックします。

以上で「サーバーの全設定のリストア（復元）」は完了です。

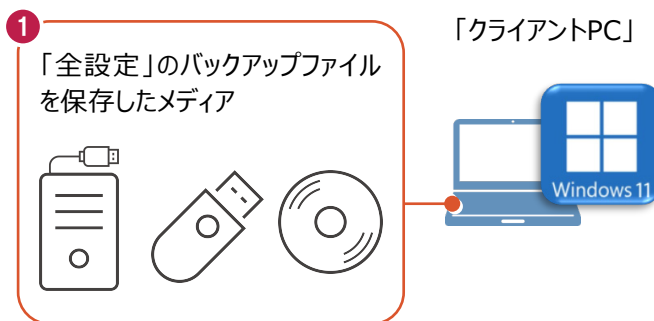


6-3 クライアントPCの「全設定」をリストア（復元）する

「全設定」のバックアップファイルを使用して、各クライアントPCに保存される設定（レジストリなど）をリストア（復元）する手順です。 ※現場管理以外のプログラムは終了しておいてください。

「クライアント PC の全設定のリストア（復元）」は、すべてのクライアント PCでおこないます。

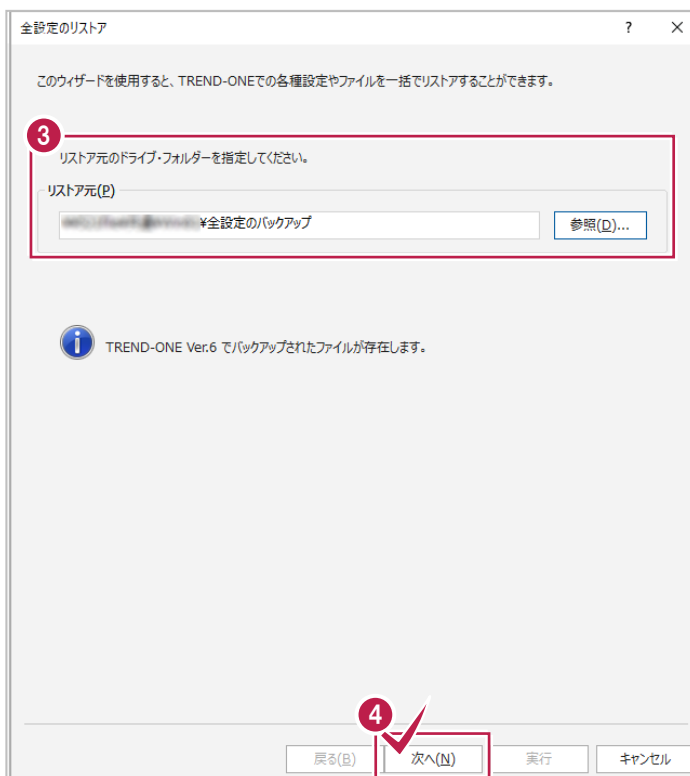
- 1 クライアントPCに、「全設定」のバックアップファイルを保存したメディア（外付けハードディスクなど）をセットします。



- 2 現場管理を起動して、[読込] タブ → [リストア] グループ → [全設定] をクリックします。



- 3 全設定のバックアップファイルが保存されているフォルダーを指定します。



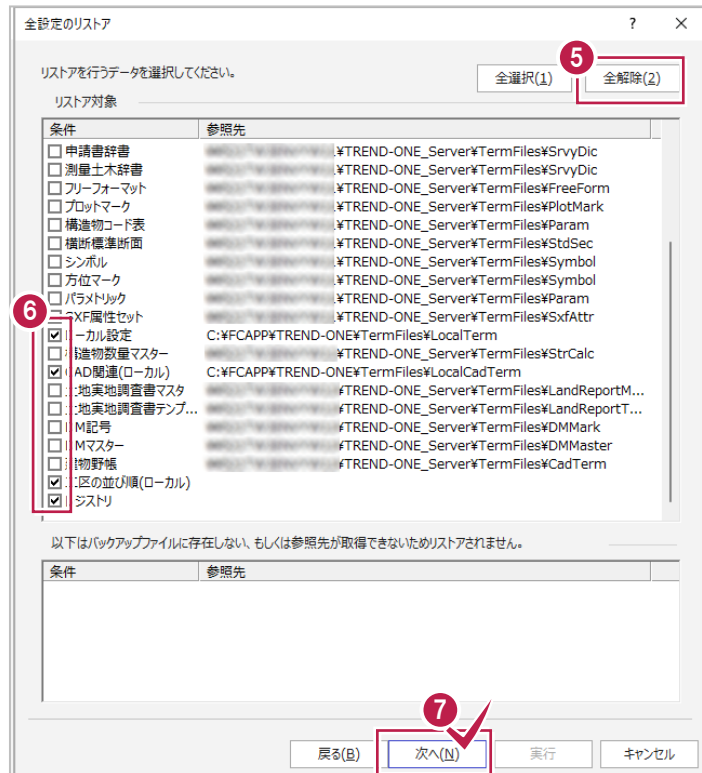
- 4 [次へ] をクリックします。

5 [全解除] をクリックします。

6 以下の条件のチェックのみ、「オン」にします。

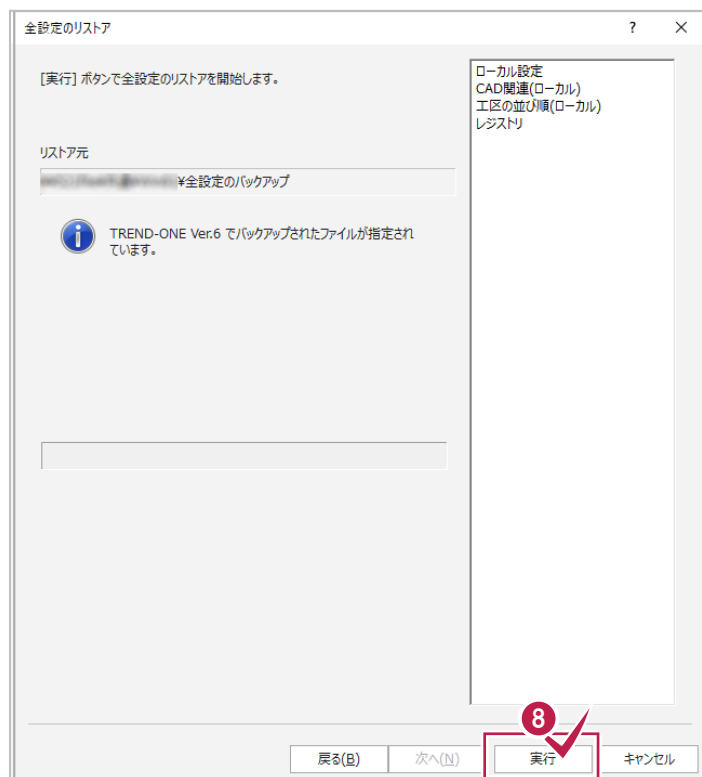
- ローカル設定
- CAD 関連（ローカル）
- 工区の並び順（ローカル）
- レジストリ

7 [次へ] をクリックします。

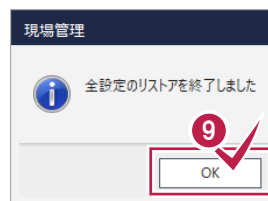


8 [実行] をクリックします。

リストア（復元）が開始されます。

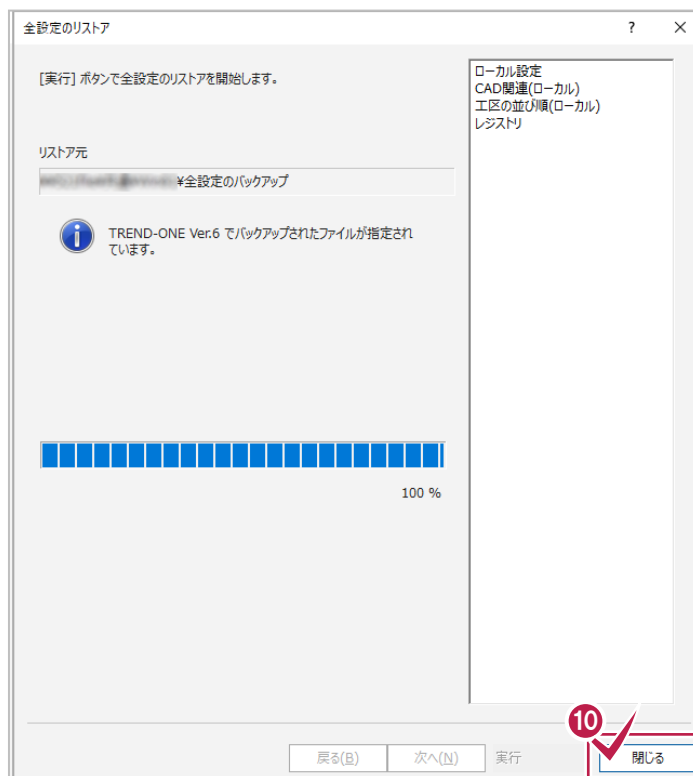


- 9 リストア（復元）が終了したら、[OK] をクリックします。



- 10 [閉じる] をクリックします。

以上で「クライアント PC の全設定のリストア（復元）」は完了です。





7

セキュリティソフトの除外設定

セキュリティソフトに誤認識されてしまうと、起動や保存障害などの不具合が生じることがあります。このような状態を事前に回避するため、弊社プログラムがウイルスの検出対象にならないように、セキュリティソフト側であらかじめ除外設定（検出対象から除外する設定）する手順について解説します。

7-1 除外設定の手順書を開く

① お客様サポートの「インストール/認証・起動」をクリックします。



② 「その他お困りごと」をクリックします。



- ③ 「セキュリティソフトの除外設定について」の「セキュリティソフトの除外設定方法」をクリックします。
内容を確認してください。

インストール
新規インストール・バージョンアップ等

認証・起動
ネット認証ライセンス・プロダクト等

その他お困りごと
その他システムに関するお困りごと等

その他お困りごと
プログラムの起動や動作環境など、その他システムに関するお困りごとはこちらをご覧ください。

動作環境について

セキュリティソフトの除外設定について

③ セキュリティソフトの除外設定方法

- ④ セキュリティソフトの手順書が表示されます。
お使いになっているセキュリティソフトをクリックすると、除外設定の手順書が表示されます。
手順書を参考にして、セキュリティソフトの除外設定をおこなってください。

土木・測量

セキュリティソフト
ネット認証ライセンス

■ セキュリティソフト

■ ネット認証ライセンス

セットアップサポート

サポートセンターに日々寄せられる質問の中から、セットアップに関する内容を紹介します。

No.	セキュリティソフトメーカー	ソフト別手順書
④ 1	トレンドマイクロ	ウイルスバスター クラウド Ver.16 ※NTTフレックスウイルスクリア・セキュリティ対策ツールもこちら ビジネスセキュリティ クライアント ビジネスセキュリティ サーバー ウイルスバスター コーポレートエディション（クライアント） ウイルスバスター コーポレートエディション（サーバー）
2	ノートン シマンテック	ノートン セキュリティ ノートン インターネットセキュリティ ノートン アンチウイルス ノートン 360 エンドポイント プロテクション エンドポイント プロテクション クラウド
3	マイクロソフト	セキュリティ エssenシャルズ Windows Defender Windows セキュリティセンター
4	ソースネクスト	ウイルスセキュリティ ゼロ スーパーセキュリティ ゼロ
5	カスペルスキー	インターネット セキュリティ ※@Niftyの常時安全セキュリティ24もこちら エンドポイント セキュリティ
6	リブセーフ	リブセーフ Ver.16

対応OS	クライアントOS	Windows 11 バージョン21H2 (64bit) Windows 10 November 2021 Update バージョン21H2 (64bit) Windows 8.1 (64bit)										
	サーバOS(※1)	Windows Server 2022 (64bit) Windows Server 2019 (64bit) Windows Server 2016 (64bit) Windows Server 2012 R2 (64bit) Windows Server 2012 (64bit)										
CPU	推奨 Core i7 (最低 Core i5 以上) :Intel社製 Celeronでは動作しません。											
必要メモリ	推奨 8.0GB (最低 4.0GB 以上)											
必要HDD容量	2.0GB 以上											
必要解像度	推奨 1920×1080 (最低 1366×768 以上)											
その他	<p>VIDEO : OpenGLをサポートするグラフィックボード(3Dビュー表示時) VIDEOメモリ : 64MB以上(推奨128MB以上、3Dビュー表示時) Google Earth(TM)に関する機能については、Google Earth(TM)をインストールする必要があります。</p> <p>連携機能 : TREND REX等との連携につきまして、TREND-ONE最新バージョンとのデータ連携となります。(※連携システム双方ともが最新バージョンでの連携保証となります)</p> <p>Microsoft Office(Excel) : CAD連携機能</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>バージョン</th> <th>サービスパック</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>365 (32/64bit)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2019 (32/64bit)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2016 (32/64bit)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2013 (32/64bit)</td> <td>SP1 以降</td> </tr> </tbody> </table> <p>※「ストアアプリ版」のOfficeがインストールされている環境では、一部機能が正常に動作しません。 「デスクトップアプリ版」のOfficeをご利用ください。</p>		バージョン	サービスパック	365 (32/64bit)		2019 (32/64bit)		2016 (32/64bit)		2013 (32/64bit)	SP1 以降
バージョン	サービスパック											
365 (32/64bit)												
2019 (32/64bit)												
2016 (32/64bit)												
2013 (32/64bit)	SP1 以降											

(※1)ネットワーク環境は、TCP/IPプロトコルが動作する環境(100BASE-TX推奨)が必要です。

※ Windows11,10のデスクトップ環境における「タブレットモード:ON」での動作は保証外です。

※ 動作確認テストは、動作環境で行っております。

※ Windows11,10以外のアップグレードしたOSでの動作は保証外です。

※ 仮想マシン上での動作は保証外です。

※ 上記動作環境は、2022年9月時点のものです。動作環境は予告なく変更する場合があります。商品により、動作環境が異なる場合があります。

※ 必要HDD容量は、データの大きさにより異なります。

※ CPUは、Intel社製 Coreに限ります。

※ プログラムのインストール時にDVD-ROMドライブまたはネットワーク環境などのDVD-ROMを認識できる環境が必要です。

※ プログラムのインストール先としてNASのご利用はできません。またデータを直接NASに保存することは推奨できません。

※ データやLANプロテクト等のルーター越えでの運用はプログラム動作保証外です。

ルーター越えの運用とは、場所の離れた拠点(例えば支店や営業所)から本社に設置しているサーバにあるデータやLANプロテクトのライセンスを取得するケースとなります。

※ ヘルプ機能を利用するためには Microsoft Edge WebView2 ランタイムが必要です。